

令和3年度 第2回ゆりはま創生総合戦略会議

日 時 令和3年11月8日(月)

10時30分～

場 所 湯梨浜町役場 講堂

1. 開 会

2. 町長あいさつ

3. 会長あいさつ

4. 令和3年度事業の進捗状況と取組状況及び令和4年度実施方針について・・・資料1～4

5. その他

6. 閉 会

ゆりはま創生総合戦略会議委員名簿

任期：令和3年5月27日～令和5年5月26日（2年間）

敬称略

	区分	役職	氏名	備考
1	産	湯梨浜町商工会	副会長	石沼 友
2	産	J A鳥取中央	湯梨浜営農センター長	西村 好美
3	産	株式会社 栄進工業	会長	坂田 康則
4	官	湯梨浜町	町長	宮脇 正道
5	学	鳥取看護大学・鳥取短期大学	理事長	山田 修平
6	学	東郷湖・未来創造会議	会長	遠藤 公章
7	学	女性団体連絡協議会	理事	井土 美智子
8	金	山陰合同銀行	羽合支店長	岩谷 悟
9	金	鳥取銀行	羽合支店長	木山 敦文
10	金	日本政策金融公庫	鳥取支店事業統轄	武智 徹
11	労	倉吉公共職業安定所	所長	山岡 英之
12	労	労働団体の関係者		加藤 一
13	労	労働団体の関係者		岡本 梓
14	言	新日本海新聞社	編集部報道課デスク	石原 美樹
15	公募	女性公募		佐相 亜友美

	鳥取県中部総合事務所 県民福祉局	副局長	小谷 昭男	コンシェルジュ（湯梨浜町担当）
	湯梨浜町	副町長	亀井 雅議	
	湯梨浜町	教育長	山田 直樹	
	湯梨浜町総務課	課長	岩崎 正一郎	
	湯梨浜町議会事務局	局長	山根 薦	
	湯梨浜町出納室	室長	森 輝信	
	湯梨浜町建設水道課	課長	石本 義之	
	湯梨浜町産業振興課	課長	遠藤 秀光	
	湯梨浜町企画課	課長	上井 明彦	
	湯梨浜町町民課	課長	尾坂 英二	
	湯梨浜町子育て支援課	課長	杉原 美鈴	
	湯梨浜町総合福祉課	課長	竹本 里香	
	湯梨浜町健康推進課	課長	林 紀明	
	湯梨浜町長寿福祉課	課長	西田 貴頼	
	湯梨浜町教育総務課	課長	山田 志伸	
	湯梨浜町生涯学習・人権推進課	課長	山崎 有紀子	
	湯梨浜町中央公民館	館長	宮脇 一善	
	湯梨浜町立図書館	館長	杉村 和祐	
	湯梨浜町国民宿舎水明荘	支配人	小椋 誠	
	湯梨浜町みらい創造室	室長	西原 秀昭	事務局
	湯梨浜町みらい創造室	未来創造係長	谷岡 雅也	事務局
	湯梨浜町みらい創造室	活力創造担当係長	音田 将人	事務局

参考資料:湯梨浜町の人口動向

資料1

○令和3年の出生数、死亡者数ともに前年比べて増加傾向であるが、自然減は前年より大きくなる傾向にある。
 ○令和3年の町外からの転入、転出ともは前年並みのペースである。また、県外からの転出入数は、前年より少ないペースだが、増減数は、前年並みのペースとなっている。

1 自然動態の推移

【自然動態の推移】

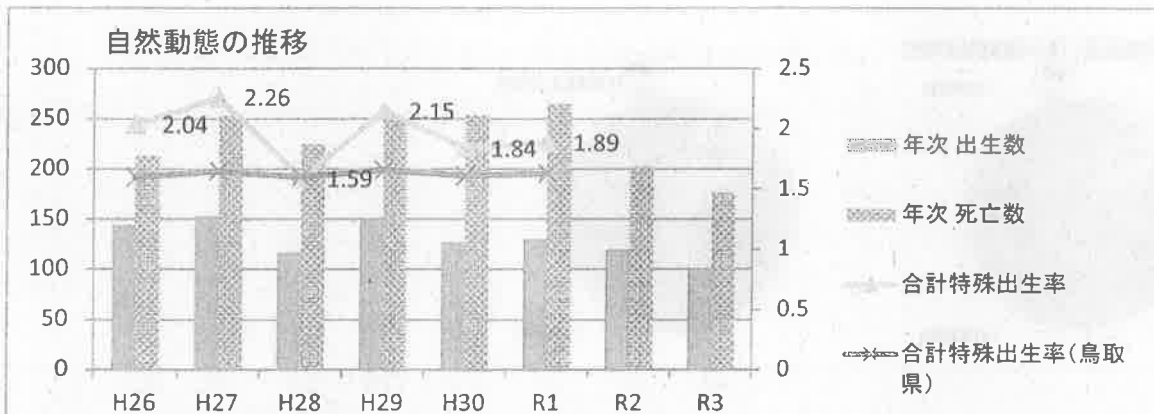
※R3は1月～9月

年次	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
自然増減	▲ 70	▲ 100	▲ 108	▲ 99	▲ 127	▲ 135	▲ 83	▲ 75
出生数	144	153	117	151	127	130	120	101
死亡数	214	253	225	250	254	265	203	176

【出生数と合計特殊出生率の推移】

※R3は1月～9月

年次	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
出生数	144	153	117	151	127	130	120	101
前年比		9	▲ 36	34	▲ 24	3	▲ 10	▲ 19
合計特殊出生率	2.04	2.26	1.59	2.15	1.84	1.89		
合計特殊出生率(鳥取県)	1.6	1.65	1.6	1.66	1.61	1.63		

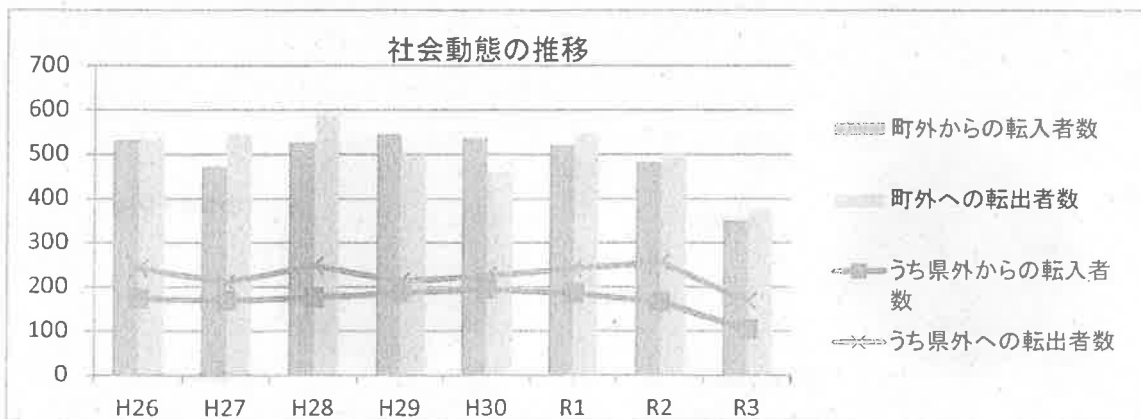


2 社会動態の推移

【社会動態の推移】

※R3は1月～9月

年次	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
社会増減	▲ 4	▲ 75	▲ 62	47	74	▲ 25	▲ 17	▲ 26
町外からの転入者数	531	472	527	545	535	521	483	350
町外への転出者数	535	547	589	498	461	546	500	376
うち県外転入増減	▲ 69	▲ 41	▲ 72	▲ 26	▲ 30	▲ 57	▲ 90	▲ 63
うち県外からの転入者数	173	169	176	187	195	185	166	104
うち県外への転出者数	242	210	248	213	225	242	256	167

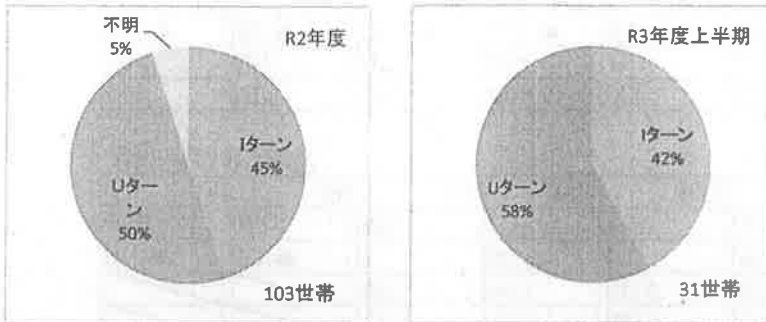


出典: 出生数、死亡数、転入者数…「鳥取県の人口推計」
 合計特殊出生率…県福祉保健課が算出

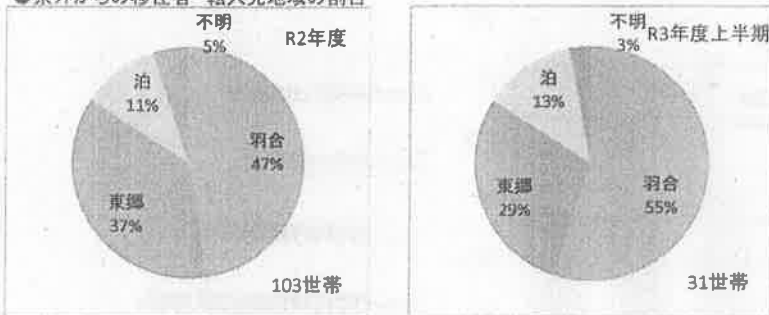
●県への報告数(参考値)

	R2	R3 上半期
世帯数	103	31
人数	134	38

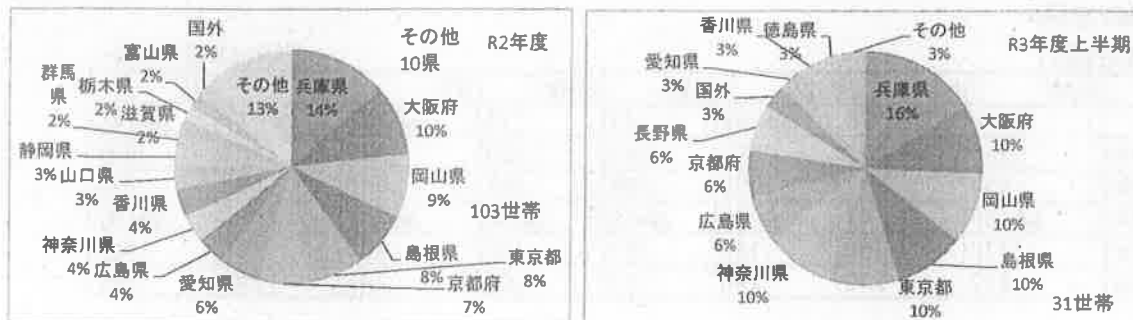
●県外からの移住 Iターン、Uターンの割合



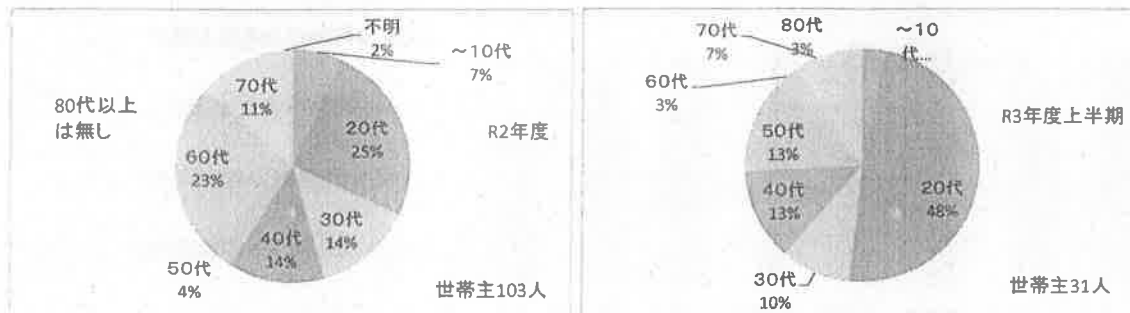
●県外からの移住者 転入先地域の割合



●移住前の住所



●移住者の年代



湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況

1. 基本目標の数値目標

目標指標	目標値(R6)	R1	R2	R3	備考
【基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち】					
温泉宿泊客数	17万人 (年間)	135,662人	67,068人	19,393人 (R3.9末)	各年度(4月～3月)数値
新規就業者数 (常用雇用)	200人 (年間)	159人	129人	61人 (R3.8末)	〃
【基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち】					
合計特殊出生率	2.07	1.84	1.89	—	〃
出生数	150人 (年間)	127人	118人	73人 (R3.9末)	〃 令和3年度内126人見込
【基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち】					
県外からの IJUターン者数	925	195人	165人	52人 (R3.9末)	〃
転入転出異動	均衡 (累計)	△25	△17	△26 (R3.9末)	各年1月～12月数値

2. 取組状況の概要(令和3年度)

取組が達成済あるいは計画どおり以上に進んでいる項目は約54%(52/96項目)

評価区分	2年目評価
A: 達成済、事業完了	2
B: 計画以上に進んでいる	7
C: 計画どおりに進んでいる	43
D: 計画より遅れている	41
E: 未着手、未実施、先送りなど	3
合計	96

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

(単位:千円)

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
1 湯梨浜町 総合戦略 策定事業	湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する事業を着実に実施していくとともに、成果検証を行い改善を図っていく。 ◆総合戦略会議、成果検証会議委員報償金 戦略会議2回開催予定 44千円 ◆報告会、説明会、研修会への参加旅費 241千円 ◆消耗品の購入、郵送料 60千円 令和元年度に策定した第2期総合戦略に関する事業の着実な実施のため、成果検証のための会議を開催していく。	345	■5月7日にゆりはま未来づくり本部会議を開催して、令和2年度の実績と令和3年度の事業計画を協議した。 ■6月1日に第1回ゆりはま創生総合戦略会議を開催して、令和2年度の実績と令和3年度の事業計画について、委員からの意見を集約した。また、総合戦略を改訂した。 ■6月10日に町HP公開 ■6月18日に議会全員協議会で上記決定内容を説明した。 ■10月8日にゆりはま未来づくり本部会議を開催して、令和3年度の進捗状況と令和4年度の実施方針を協議した。	39	総合戦略会議、成果検証会議を各1回以上開催する	50%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 順調に開催できている	第2期総合戦略の3年目となり、中間に位置するため、後半期に向けて委員から積極的な提案が出るよう、説明事項を絞るなど工夫をする。	みらい創造室
2 農産物販 路拡大及び ブランド化 推進事業	二十世紀梨販路拡大PR事業 コロナ禍および新型コロナウイルス感染症拡大の終息を見据えて進物用パンフレットの内容などを再検討し、JA東郷果実部で県の他事業を活用して作成していく。販路拡大、単価増額については、リモート形式を活用した販売PRを行い、増収につなげる。 【販売PRイベント】 観光大使活動謝金 12,000円 特別旅費 45,000円 PR用梨 10,000円	67	8月28日に開催されたガイナール鳥取2021ホームタウンデーで贈答品として二十世紀梨2箱(10kg/箱)を提供。	9	前年度産単価より増 (R2:二十世紀梨5,351円/10kg)	15%	【評価:D 計画より遅れている】 販売PRイベントの中止は感染症拡大防止のためやむを得ないが、県内で開催されるイベントを利用したPRが実施できた。	今後、移動制限の解除されるにあたり、県外に二十世紀梨を積極的にPRしていくとともに、JAと連携し関西圏での出荷イベント、空港での梨イベント等による販売PRを行い増収へつなげる。	産業振興課
3 鳥取梨等 生産振興 事業(農業 生産現場 強化事業) ①	鳥取柿ぶどう生産振興事業 鳥取県が新規栽培を推奨している新品種(輝太郎、シャインマスカット)への新植、それに伴う園地の整備(ハウス新設、果樹棚、園内道、かん水施設等)、育成管理を支援する。 輝太郎全面改植100千円(10a)×1/2=50千円 防除用機械整備300千円×1/2=150千円 育成促進対策(新植等) 48千円(10a)	248	輝太郎の改植10a(42本)および動力噴霧機1台の購入を支援した。 事業費 全面改植80,220円×1/2=40,110円 動噴245,000円×1/2=122,500円 育成促進対策48,000円	211	柿、ぶどう等の新品種の新植面積の10a増	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 高収益品種への切り替えを進めることができた。	県が新規栽培を推奨する新品種への切り替えを進め、それに伴う果樹棚の整備や育成管理を支援し、生産者の所得向上を図る。	産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

	事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
						目標	達成率	評価		
4	鳥取梨等 生産振興 事業(農業 生産現場 強化事業) ②	・鳥取梨生産振興事業(地方創生) 県が推奨する新品種(新甘泉、王秋など)を中心に栽培に必要な資材(苗木、土壌改良剤等)、施設(果樹棚、かん水施設、園内道、スピードスプレーヤーなど)の整備を支援。新品種の植栽を伴う場合は2/3(県1/2+町1/6)、既存品種(ジョイント栽培)が中心の場合は1/2(県1/3+町1/6)。補助対象者は町内で梨を栽培している農業者(認定農業者は個人で取組可)または農業協同組合。 新甘泉等特別対策16,882千円、気象災害に強い施設整備事業580千円、ジョイント栽培拡大事業2,340千円、低コスト・体制強化事業350千円	20,152	強風を防ぐための防風ネット設置(3件・約90a)、新甘泉改植(10件・約83a)、ジョイント栽培拡大(新甘泉ほか1,036本・約60a)、低コスト・体制強化(乗用モア1台購入)など、事業費総額21,152千円を実施する。 事業費(補助金) 気象災害対策965,000円 (内補助金 321,665円) 新甘泉等特別対策15,796,196円 (内補助金 10,147,711円) ジョイント栽培拡大3,340,400円 (内補助金 2,226,929円) 低コスト・体制強化1,050,000円 (内補助金 525,000円)	13,222	新品種の新改植0.5ha	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 推奨する新品種「新甘泉」を約83a改植し目標を達成した。また、ジョイント栽培及び機械導入により作業の省力化を図ることができた。	梨生産地を維持発展させるため、県奨励の新品種(新甘泉、王秋)への転換促進及び二十世紀梨の生産拡大を支援することにより生産者の所得向上を図る。また、ジョイント栽培、機械化の推進により作業の省力化を図る。	産業振興課
5	湯梨浜版 担い手認定	○湯梨浜町担い手ステップアップ支援事業 【対象者】①認定農業者、②準認定農業者、③認定新規就農者、④準認定新規就農者、⑤集落営農組織 【支援内容、補助率等、対象者】 ○就農奨励金:就農3年以内の対象者に定額30万円(予算額300千円)、④ ○新規就農者住宅家賃補助:町外から転入する就農者に家賃上限2万円を補助(予算額240千円)、③・④ ○中古機械導入補助:中古機械導入費の1/3(上限10～50万円)を補助(予算額1,000千円)、①・②・③・④・⑤ ○農業機械修理補助:農業機械・施設の修繕費の一部を補助(5～30万円)(予算額1,000千円)、①・②・③・④・⑤	2,540	新規就農者住宅家賃補助:1件 240千円 中古機械導入補助:3件 1,005千円 農業機械修理補助:4件 464千円	1,709	新たな認定農業者数 2名	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 認定制度の普及及び関係機関との連携により、新たに2名の新規認定を行うことができた。	農業者の高齢化・後継者不足により、耕作を依頼される農地の増加が見込まれる。耕作放棄地の発生防止、産地再生のためには、多様な担い手を確保し営農を継続することが重要であり、町独自の基準により担い手の認定を行っていく。 支援事業内容を見直しながら継続して支援を行う。	産業振興課
6	中核的担い 手農家育 成奨励金 交付事業 (農業生産 現場強化 事業)	【事業内容】 認定農業者あるいは新規就農者が町内の農地を3年以上借り受けした場合、奨励金を交付する。本町の農地を守るため、27年度から町外の認定農業者が借り受けした場合も対象としている。 町内者:2,000円/10a×年 町外者:1,000円/10a×年 予算額 R3.1月～12月契約見込み分 2,053千円	2,053	利用権設定面積 107,449㎡ 利用権設定筆数 83筆 利用権設定者数 30人 補助金額 870,743円	0	権利設定面積 21ha	51%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 権利設定面積は10.75ha。 計画的に権利設定しており、今後も増加見込。	農業者の高齢化・後継者不足により、耕作を依頼される農地の増加が見込まれ、担い手への農地集積を進める必要がある。 担い手の育成及び農地流動化の促進を図るため、継続して支援していく。	産業振興課

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
7 農林水産物等販売促進事業	町内の農林水産物の商標権、意匠権等の取得や宣伝資材作成を支援する。 販売促進のための新規パッケージ作成を支援 予算:50千円(1/2補助・上限80千円) 販売促進にかかるチラシ、パンフレット作成費 予算:100千円(1/3補助・上限300千円) ブランド化を図るための商標権、意匠権等の取得を支援100千円(1/2補助・上限あり)	250	(株)センコースクールファーム鳥取と「氷温熟成まいたけ」に係るチラシ作成の協議を行ったが、社内の他部署で発注されており事業活用に至らなかった。 新規就農で醸造用ブドウの栽培を行っている就農者が、今年度何本かワインを試作する予定があり、不確定ではあるが、事業活用を打診している。	0	パンフレットの作成利用について周知を実施し、制度利用を見込む	0%	【評価:D 計画より遅れている】 制度については周知できていたが、事業活用に至らなかった。	町内の名産、特産品の販売促進のための新規パッケージ、チラシ、パンフレット等の宣伝資材作成を支援することにより製造者が自信を持って販売していく体制を図っていく。	産業振興課
8 東郷湖漁業振興事業	○東郷湖漁協漁業振興費補助金 【事業内容】漁協が実施する覆砂事業費を補助し、東郷池の水質浄化及びシジミの増殖を図る。 ◆補助金 267千円 ○内水面漁場環境保全事業補助金 【事業内容】東郷湖の浮遊ゴミ等の処理費を補助し、漁場環境を保全する。 ◆補助金 267千円	534	○東郷湖覆砂事業 交付決定 8/19 ○東郷湖クリーンアップ事業 交付決定 8/19 事業実施 9/26	0	シジミ漁獲量 100t	0%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 池内清掃の実施により、漁場環境の保全を図った。 達成率は、現在未確定のため確定してから掲載します。	引き続き覆砂事業、クリーンアップ事業の助成を行い、東郷池内の保全を促進し、シジミの漁獲量増加を図る。	産業振興課

事業名	計画	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
				目標	達成率	評価		
9 沿岸漁業 活性化推 進事業	町内の漁業者の漁業経営改善を図るために、燃料高騰対策として輸送量コスト支援を行う。 ◆輸送コスト支援補助金 30,000箱×100円×1/3= 1,000千円	交付決定 4/1 事業費 2,700千円 (100円×27,000箱) 交付決定額 900千円	0	新規漁業就業者1名	0%	【評価:D 計画より遅れている】 現在、漁獲量の減少が見込まれている。	継続して輸送費コストの補助を行い、低迷する漁業経営を支援する。	産業振興課
10 特産果物 生産振興 事業	町の特産品である、二十世紀梨、ぶどう、イチゴ、メロン、スイカ、梅の生産を維持・拡大するため、県の補助事業にのらない品種について、生産者の要望に沿う支援を行う。 ・二十世紀梨:灌水施設、ハウス整備等 1/2補助 725千円 ・ぶどう:資材購入 2/3補助 96千円 ・ぶどう:ハウス整備 1/2補助 1,012千円 ・ほうれん草:ハウス整備 1/2補助 1033千円 ・いちご:ハウス整備 1/2補助 873千円 ・メロン:ハウス整備 1/2補助 178千円	JA生産部会へ事業説明を行い、事業を募ったところ、梨、ぶどう、ほうれん草、いちご、メロンの部会から補助総額3,917千円の要望があり、9月補正に1,949千円の増額を計上し、対応する。 事業計画(予定) 二十世紀梨関係(灌水施設、ハウス整備等)9件 ぶどう関係(資材購入、ハウス整備)14件 ほうれん草関係(ハウス整備) 9件 いちご関係(ハウス整備)6件 メロン関係(ハウス整備)2件 その他、情報周知を行い、必要に応じて補正予算対応としたい。	0	設備導入支援 農家数 5戸	0%	【評価:B 計画以上に進んでいる】 申請内容はハウス被覆材の張り替えがほとんどで、県事業では拾い出せなかった要望を拾い出すことができた。 申請状況から100%達成見込み	町特産品である施設園芸品目と梨の生産拡大を目指し生産者の負担軽減のための施設整備等を支援し、特産地としての維持と生産振興を図る。 4年度以降も生産部等と調整し、事業を継続するとともに、持続可能な営農の支援を行いたい。	産業振興課
11 森林環境 税関連事 業	管理不足による森林環境の悪化が懸念される中、森林経営管理事業や放置竹林対策事業を支援する。 ◆森林経営管理事業 1,790千円 意向調査委託(小浜、筒地地区:20.59ha)・管理権集積計画作成委託(石脇、泊地区:26.59ha) ◆竹林対策事業 89千円 町放置竹林対策協議会1回 タケノコ掘り講習会、ウラ止め・間伐講習会 ◆森林整備基金積立金 4,800千円 令和2年度森林経営管理事業推進面積 26.59ha(石脇、泊地区) (意向調査回答面積 21.01ha)	■小浜・筒地地内の意向調査を実施。昨年度意向調査を行った石脇・泊地内の管理権集積計画の作成予定。 ■竹林対策事業関連については、雨天により講習会の中止及びコロナ禍のため未実施。 ■森林環境譲与税の積立予定 4,800千円	0	森林経営管理事業推進面積 20ha	58%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 意向調査のアンケート送付。 意向調査、森林境界調査 7月/12月 概ね58%の進捗	管理不足による森林環境の悪化が懸念される中、森林経営管理事業や放置竹林対策事業を支援する。 4年度は宇谷地内の意向調査、小浜・筒地地内の管理権集積計画の作成を実施する。	産業振興課
12 ゆりはま農 作業体験ツ アー事業	就農希望者に本町での農作業体験ツアーを提供する。費用助成することで参加を促し、将来的な移住就農へつなげる。 交通費助成(片道相当) 1/2補助 53千円 宿泊費助成(3泊4日・お試し住宅) 36千円 着地型観光体験 4千円 ※いずれも4人を想定	webを利用した就農イベントで参加を促したが、コロナ禍により県をまたぐ移動に自粛が求められ、実施できていない。	0	参加者数 4人	0%	【評価:E 未着手、未実施、先送りなど】 コロナ禍により積極的な勧誘ができない。	新規就農者獲得のための農作業体験ツアーを提供し、将来的な移住就農へつなげる。移動制限緩和の動向を見ながら、積極的にPRしていく。	産業振興課

(単位:千円)

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
13 グラウンド・ゴルフ 国際化及び潮風の丘 聖地化の推進①	【地方創生推進交付金】 グラウンド・ゴルフの国際化に向け、プロモーションDVDの多言語化を推進する。本年度はアラビア語、ウルドゥー語、カザフ語を追加。 ◆多言語DVD作成委託料 1,667千円	1,667	入札により多言語DVD作成業務の業者が決定。契約を締結して業務に着手した。	0	①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国	0%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 完成した言語のDVDから活用を進めていく。	必要に応じて、今後グラウンド・ゴルフを重点的に普及させる国の言語を用いたDVDの作成を検討する。	産業振興課
14 グラウンド・ゴルフ 国際化及び潮風の丘 聖地化の推進②	グラウンド・ゴルフの国際化及び潮風の丘聖地化に向け、潮風の丘の施設等整備を行う。 ◆潮風の丘とまり多目的広場周辺の景観保全 611千円	611	多目的広場周辺の景観保全については、樹木の繁茂時期を避けて実施を予定している(秋～冬予定)	0	①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国	0%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 概ね予定どおり。	利用者や運営者の要望も聞きながら、グラウンド・ゴルフの国際化及び潮風の丘聖地化に向け、適宜、計画的に施設整備を行っていく。	産業振興課
15 グラウンド・ゴルフ 国際化及び潮風の丘 聖地化の推進③	【地方創生推進交付金】 グラウンド・ゴルフの国際化のため、海外普及活動・WMG2021関西のPR・国際組織の運営協力や、用具海外販売を促進する。 ◆ルール普及2,247千円 フィリピン、スペイン ◆用具提供2,640千円 未普及国を中心に用具を贈呈するとともに、湯梨浜まちづくり(株)による販売をPRする。 ◆国際組織運営協力175千円 町国際大会時に国際グラウンド・ゴルフ連盟と連携して、参加国代表者会議等を開催する。	4,142	◆ルール普及0円 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による出入国制限が厳しい中、海外でのトップセールスは実施できていない。ただし、交流国との友好関係を維持するため、9月に各国へ町長からの書簡を送付した。今後は、オンラインによるルール普及を検討する。 ◆用具提供133千円 アメリカ(サイパン)及びカザフスタンに用具を贈呈した。湯梨浜まちづくり(株)による30%オフセールを7月から開始した。 ◆国際組織運営協力0円 参加国代表者会議について具体的な協議は進んでいないが、適宜連絡調整し、連携を密にしている。	133	①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国	0%	【評価:D 計画より遅れている】 例年5月に開催されていたグラウンド・ゴルフ国際大会が中止となり、参加者等は現在のところ見込めない状況である。しかしながら、11月に県内留学生等を対象とした交流大会が開催される予定であるため、参加者に町の取り組みを紹介し、普及に結び付けたい。	国際連盟と連携を図り、今後の発祥地としての海外普及の方針を固める。	みらい創造室

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
16 ウオーキングリ ゾート構想の推進 及びインバウンド の促進①	<p>【地方創生推進交付金】 令和2年11月、済州オルレとの「友情の道」協定を締結。ウオーキングリゾートとしてインバウンド化を目指すため、町の認定したウオーキングコースを生かし、国内外の交流人口増加と地域活性化を目指す。また、湯梨浜町ウオーキングコースにおいて町の特産等でおもてなしを行う。 《ウオーキングリゾート推進事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆旅費 360千円 ◆消耗品費 20千円 ◆印刷製本費 264千円 ◆通信運搬費 9千円 ◆筆耕翻訳料 90千円 ◆委託料 663千円 ◆使用料及び賃借料 1千円 ◆負担金 5千円 <p>計 1,412千円</p>	1,412	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国内はもとより、海外との往来が制限される状況の中で、海外でのトップセールスの実施が厳しい見込み。 昨年度協定締結した「友情の道」提携コースの維持、整備を進めるとともに、コロナ禍で実施される済州オルレフェスティバル(10/22～11/16)での町PR方法を検討。 □湯梨浜町・済州オルレ交流事業リモートミーティングの開催(10/14、参加:湯梨浜町・済州オルレ・NPO法人未来)</p>	1	<p>①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国</p>	0%	<p>【評価:D 計画より遅れている】 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、移動が制限される状況の中で、町内でのイベント等も中止せざるを得ない状況から、海外からの参加者が見込めない状態。コロナ禍でのPR方法を検討・工夫しながら、感染終息後に向けて取り組みを進めていく。</p>	国内外へ向けてウオーキングコースのPRを行いながらウオーカーを獲得し、インバウンドの促進に取り組む。また、済州オルレと相互に良好な関係を築き、海外普及を進めていく。	健康推進課
17 アロハカーニバル 事業【I:③商工 業の振興にも掲 載あり】	<p>本町にある羽合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、地元飲食店でのスタンプラリーや宿泊施設や観光施設とも連携した企画を実施するなど、飲食店の振興と地域の活性化を図る。 ○事業費内訳: スタンプラリー企画(スタンプラリー、景品等) 500千円 観光誘致費用 450千円 イベントPR費用 460千円 事務費20千円 計1,430千円 ◆上記に対する補助金額 1,250千円</p>	1,250	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実行委員会で協議の結果、今年度の事業は中止とした。</p>	0	<p>①イベント参加店舗数:15店舗以上 ②スタンプラリー参加者数:200人以上</p>	0%	<p>【評価:E 未着手、未実施、先送りなど】 実行委員会で協議。ハワイアンフェスティバル中止やコロナ禍において実施の判断に至らなかった。</p>	来年度以降の事業及び実施団体について、関係団体で検討する。	産業振興課

	事業名	計画	実績 (10月末現在)	KPI			R4 実施方針	担当課	
				予算額	執行 済額	目標			達成率
18	天女のふる里づくり事業①	①東郷湖・未来創造会議事業 「天女のふる里づくり」事業の一層の伸展に向け、住民と連携した緑化の取組を推進する。 ◆地域おこし協力隊員報酬等 2,416千円 ◆社会保険料 385千円 ◆委員報償費等 72千円 ◆委員旅費 70千円 ◆消耗品 10千円 ◆通信運搬費 13千円 ◆交付金 1,026千円 ②花と緑のまちづくり支援事業補助金の交付 ◆補助金 400千円	①地域おこし協力隊員(コミュニティ・ガーデナー)の募集を6月に行い、1名の応募があったが不採用としたため、現在年度末までの随時募集中。 ②交付申請 1件	0	補助金の利用:5件	20%	【評価:D 計画より遅れている】 ①応募はあったが、任用には至らず、早急に次の募集を行う必要がある。 ②平成30年度に当該補助制度を創設して以来、補助申請がなかったことから、今年度補助金要綱を改正。制度の周知を行い、申請が1件あり。	①R3に協力隊員を任用し、R4も継続して住民と連携した花と緑による湖周の魅力向上に向けた取組を推進する。 ②今後も広報や各団体への声掛けを行い、補助金活用団体を増やしていく。	企画課
19	天女のふる里づくり事業②	①-1 天女を活用したまちづくりの一環として関係自治体へのイベント参加交流を実施 ①-2 子どもたちへの羽衣天女伝説の認知度向上を目的にパンフレットを配付 ◆イベント参加旅費 46千円 ◆消耗品 28千円 ◆通信運搬費 5千円 ◆モニュメント保険料 4千円 ◆高速道路使用料等 13千円 ②宇宙桜やハナミズキ、宙ユリなど花関連の情報を発信する。	①高石市の開催するイベントへの参加を予定しているが、上半期の開催はなし。 ②町報及びHPに宇宙桜及び宙ユリに関する記事を掲載。宙ユリについて日本海新聞に掲載された。	4	①イベント参加:1回 ②花関連情報の新聞、ニュース等での取り扱い:2回	33%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ①新型コロナ感染者の動向に影響されるが、できるだけイベントの参加等を通じて情報発信を行っていく。 ②3月に宇宙桜が開花状況をHPに掲載する等周知する。	①コロナウイルスの感染対策を講じながらイベントに参加するとともに、ウェブでの参加等、これまでと異なる取組を他団体と協議していきたい。 ②今後も積極的に情報発信を行い、花と緑による湖周の魅力向上を行っていく。	企画課

	事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
						目標	達成率	評価		
20	天女のふる里づくり事業③	<ul style="list-style-type: none"> 宇宙桜植樹交流事業 宇宙を旅した桜の種から生育した苗木の植樹をH29年度に実施。宇宙の桜＝「天女桜」として育て、観光振興に活用していく。これをシンボルとして、緑化推進の機運醸成にもつなげる。(植樹3年目) ◆旅費 141千円 ◆消耗品 50千円 	191	<ul style="list-style-type: none"> 地元のボランティア団体(宇宙桜ガーデニングプロジェクト)と合同で、天女桜ガーデンの草刈りを5回実施。 山梨県で開催予定の宇宙桜サミットは、新型コロナウイルスの影響により開催されない見込み。 	0	宇宙桜に関連した住民参加による取組:7回	71%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 予定通り実施できている。	天女ガーデンの維持管理について、地元のボランティア団体と引き続き連携しながら実施するとともに、連携の仕方について検討する。	企画課
21	天女のふる里づくり事業④	<ul style="list-style-type: none"> 天女のふる里東郷湖「花」基金積立金 天女を活用したまちづくりの推進策の一つである町内の緑化推進のため、東郷湖周への桜植樹などを行うこととしている。その財源に充てるため、ふるさと納税制度等を活用した寄付を募り、基金へ積み立てるもの。 ◆積立金 1,202千円 	1,202	天女のふる里東郷湖「花」基金寄付金額 1,265千円	0	寄付金額を120万円とする。	100%	【評価:B 計画以上に進んでいる】 当初見込額を超えているため、12月補正で増額の予算要求を実施する。	今後も、周知を図るとともに、基金を活用した事業を創出し、基金の活用実績の情報発信を行うことで、さらなる寄付金増につなげていく。	企画課
22	天女のふる里づくり事業⑤	<ul style="list-style-type: none"> 町天女キャラクター活用推進事業 天女のまちイメージ創出に向け、天女キャラクター「ゆりりん」のデザインと着ぐるみの活用を進める。 ◆旅費、メンテナンス、通信運搬費等 192千円 	192	<ul style="list-style-type: none"> ■デザイン活用11件 ■着ぐるみ活用8件 	0	デザイン活用30件 着ぐるみ活用30件	31%	【評価:D 計画より遅れている】 イベントの中止などの影響で、デザインと着ぐるみの活用が進んでいない。	天女のまちのイメージ創出と定着に向けて、デザインと着ぐるみの活用を進めていく。	産業振興課
23	観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)①	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県中部観光推進機構【会費】 鳥取県中部地域及び岡山県蒜山地域の連携を深め、観光資源の共有及び周遊環境の整備等による広域観光地の魅力向上のための事業を展開するためH27に一般社団法人化したDMO組織への会費。 ◆会費 531千円 	531	<ul style="list-style-type: none"> ■R3年度会費 531千円 鳥取県中部エリア(蒜山エリア含まない) ・観光入込客数 1,032,865人 (前年比:116.5%、前年:886,766人) ※R3年4月～8月期 ・全宿泊者数(日本人・外国人計) 114,878人 (前年比:146%、前年:78,666人) ※R3年4月～8月期 ・外国人宿泊者数 455人 (前年比:121.7%、前年:374人) ※R3年4月～8月期 	531	<ul style="list-style-type: none"> 推進交付金 中部エリア (令和3年) ①年間観光入込客数 5,000,000人以上 (R2:4,288,897人) ②年間宿泊客数 400,000人以上 (R2:361,599人) ③年間外国人宿泊客数 4,000人以上 (R2:3,511人) 	20%	【評価:D 計画より遅れている】 昨年の同時期に比べ観光客数など多いが、県内及び全国的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年に比べ観光客等が少ない状況が続いている。 達成率 (①+②+③)/3=20% ①21% ②29% ③11%	新型コロナウイルス感染症収束後、中部圏域で連携した観光商品造成を進め、海外セールスなどを通じてインバウンドをはじめとした観光客の誘致に取り組む。	産業振興課

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
24 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)②	【地方創生推進交付金】 新たな観光振興スタイル、時代に合致した情報提供方法(デジタル化)、感染対策を講じた観光商品(ワーケーション等)を中心とした事業を実施する。 広域観光連携推進事業負担金 30,000千円 デジタル化推進事業 アニメカルチャーコンテンツ育成事業 情報発信事業 インバウンド誘客対策事業 観光スキルアップサイト構築事業 ワーケーション整備計画策定事業 ◆湯梨浜町負担金 3,520千円	3,520	■R3年度負担金 3,520千円 ○デジタル化推進事業:中部圏地域デジタルマップ「ここいこmap」9/1運用開始 ○情報発信事業:メルマガ配信、ホームページ、Twitter、Facebook、Instagram、高速SAパレット配架により観光情報発信 ○インバウンド誘客対策:通訳案内士・通訳・翻訳業務登録者27名 ○観光スキルアップサイト構築事業:観光スキルアップ研修 第1期受講17名 第2期受講申込12名 ○ワーケーション整備計画策定事業:6/28、10/15実行委員会開催	0	推進交付金 中部エリア (令和3年) ①年間観光入込客数 5,000,000人以上 (R2:4,288,897人) ②年間宿泊客数 400,000人以上 (R2:361,599人) ③年間外国人宿泊客数 4,000人以上 (R2:3,511人)	20%	【評価:D 計画より遅れている】 昨年の同時期に比べ観光客数など多いが、県内及び全国的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年に比べ観光客等が少ない状況が続いている。 達成率 (①+②+③)/3≒ 20% ①21% ②29% ③11%	新型コロナウイルス感染症収束後、中部圏域で連携した観光商品造成を進め、海外セールスなどを通じてインバウンドをはじめとした観光客の誘致に取り組む。	産業振興課
25 教育旅行のメニュー開発事業	教育旅行商品の企画造成を行う。 ◆町観光協会補助金 10,481千円	10,481	■町観光協会補助金交付10,481千円 2023年度 教育旅行予約22件 (ドラゴン22件、Gゴルフ12件 重複あり)	5,500	2年後の修学旅行等の予約:10件	100%	【評価:B 計画以上に進んでいる】 2023年度教育旅行予約 22件	引き続き、観光協会を通じてPRしていく。	産業振興課
26 ワーケーション推進事業 (ゆうゆうゆりはま事業、観光関連施設公衆無線LAN整備支援事業含む)	【地方創生推進交付金・臨時交付金ほか】 町内宿泊施設等におけるワーケーションの活用について県内外へPRを行う ◆ワーケーション推進事業 24,336千円 Webサイト更新及び告知ページ制作、動画制作、新聞等広告、告知パンフ制作など 受入体制整備、プランの造成・企画 県外企業とのマッチング、事業実施等 ・日本海テレビ「ガンバレルーヤの週末移住バラエティ冠ルーヤ」による町のPR ◆観光関連施設公衆無線LAN整備支援事業 300千円 町内観光施設等が行う公衆無線LANの整備補助	24,636	■ワーケーション推進事業(Webサイト更新、動画作成、広告等)委託契約 ○PR動画撮影(1回)、HP管理 ■ワーケーションプラン実施事業(プラン造成・企画、告知チラシ、事業実施等)委託契約 ○県外者によるワーケーションプランを11月に2回、1月に1回実施する予定 ■日本海テレビ「週末移住バラエティ冠ルーヤ」契約 11月ロケ、12月・1月放送予定	0	町内宿泊施設におけるワーケーション利用者数 50人	10%	【評価:D 計画より遅れている】 県内及び全国的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ワーケーション受入態勢の整備が遅れている。	今年度制作する動画、パンフレット、ガイドブックなどを有効に活用し、ワーケーションによる滞在地として積極的にPRする。そして、交流人口及び関係人口、移住定住者の増にもつなげていく。	産業振興課
27 食と健康のまちづくり事業	県・町・(株)タニタヘルスリンクと進める「ゆりはま食と健康のまちづくり事業に関する協定」に基づき、町民の健康寿命の延伸及び店舗への誘客を図る。 ◆飲食店とタイアップしたタニタ監修メニューの提供 《食と健康のまちづくり事業》 ◆タニタヘルシーツーリズム展開業務委託料 監修メニュークオリティチェック業務 165千円	165	■メニューの品質チェックについては、監修事業者が来訪しての実施は困難であったため、前年度は条件を緩和した内容で実施。状況によるが、1年経過に合わせて、本年度も実施を予定。 ■コロナ禍という状況から提供を中止する店舗もあり、新規会員に店舗一覧を配布するのみの周知にとどまっている。	0	【目標】 監修メニュー提供数:800食	54%	【評価:D 計画より遅れている】 【提供数】:435食 店舗により提供状況に差があり、町報等での積極的な広報は実施できていない。今後の状況を見ながら、運動分野と併せて利用促進できるよう広報を検討する。	食分野での町民の健康意識の醸成、これに伴う協力店舗の活用・賑わいに向けて、引き続きメニュー提供が可能となるよう品質チェックを実施していく。	健康推進課

(単位:千円)

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
28 ゆりはまじ げ産業支 援事業	町内での創業、新事業進出や販路開拓に取り組む事業者に対して必要経費の一部を補助する。 ◆補助金 創業、新事業進出や販路開拓に取り組む事業者を支援する。 ○補助金 ・創業、新規事業展開支援 1,667千円 (事業費1,000千円×1/2×2事業者 +事業継承 事業費1,000千円×2/3×1事業者) ・販路開拓支援 2,533千円 (事業費400千円×1/2×9事業者 +事業継承 事業費400千円×2/3×2事業者)	4,200	■創業、新事業進出=交付決定3件 ■販路開拓=交付決定0件	0	制度活用事業者5件以上	0%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 創業1事業者、販路開拓1事業者から補助金活用の相談を受けている。	引き続き町内での創業や販路開拓などの取り組みを支援していく。	産業振興課
29 チャレンジ ショップ支 援事業 【I:④雇 用の推進に も記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ※限度額は、月5万円で交付期間は1年間 ◆補助金 新規分1件480千円 継続分1件300千円	780	■継続分=交付決定1件 ⇒令和2年10月に創業した事業者の令和3年4月から9月までの賃借料を支援する ■新規分=交付決定0件	150	新規申請1件	0%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 新規分の相談を1件受けていて、交付申請につながる見込み。	制度を継続して、町内での空き店舗や空き家などを活用する創業を支援していく。	産業振興課
30 〈再掲〉 アロハカー ニバル事業 【I:②観 光産業の 振興にも記 載あり】	本町にある羽合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、地元飲食店でのスタンプラリーや宿泊施設や観光施設とも連携した企画を実施するなど、飲食店の振興と地域の活性化を図る。 ○事業費内訳: スタンプラリー企画(スタンプラリー、景品等) 500千円 観光誘致費用 450千円 イベントPR費用 460千円 事務費20千円 計1,430千円 ◆上記に対する補助金額 1,250千円	1,250	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実行委員会が協議の結果、今年度の事業は中止とした。	0	①イベント参加店舗数:15店舗以上 ②スタンプラリー参加者数:200人以上	0%	【評価:E 未着手、未実施、先送りなど】 実行委員会が協議。ハワイアンフェスティバル中止やコロナ禍において実施の判断に至らなかった。	来年度以降の事業及び実施団体について、関係団体で検討する。	産業振興課

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
31 ふるさと名物応援事業	町の地域資源を生かした商品や観光プランの開発を支援する。従来は東郷湖周ウオーキングを活用した商品開発を対象としていたが、制度を拡大し、町内の地域資源を活用する事業を対象とする。 ◆補助金 150千円×1事業者=150千円	150	要綱を制定し、ウオーキングに限らず町内の豊富な地域資源を活用する事業を支援できるようにした。	0	新規申請1件以上	0%	【評価:D 計画より遅れている】 新型コロナウイルス感染症の影響の中、新たな取り組みを検討する事業者がいない状態。	「28 ゆりはまじげ産業支援事業」に事業を統合することを検討する。	産業振興課
32 環境創出プロジェクト事業	町民から生ごみを回収し、これを活用し農業用の有機液体肥料や培養土として販売する。また、その他東郷支所などに液肥タンクを設置し、町民に無料配布する。これにより町民参画と食物を土に返すことによるイメージアップ、企業との連携によるエコブランドの販路を図り循環型社会を継続して推進する。 ◆対象事業費3,924千円(委託料3,773千円:生ごみ収集運搬、報償金10千円:生ごみ回収協力区への報償、消耗品費141千円:生ごみ収集に係る事務経費)	3,924	生ごみ収集運搬業務について、契約済。新規回収協力区は無し。	1,815	生ごみ回収協力区の拡大 R2末 10区 ⇒ R3末 12区以上	0%	【評価:D 計画より遅れている】 既協力区からの回収、液肥の作成、配布については順調に進んでいるが、新規協力区の掘り起こしに苦慮している。	現状の報奨金制度で新規協力区が増えない状態が続いているため、制度の見直しを検討する必要がある。	町民課

(単位:千円)

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
33 看護師、保育士奨学金助成事業(ふるさと奨学金支援助成事業) 【Ⅲ:①移住定住の推進にも記載あり】	【ふるさと人材育成奨学金支援助成金】 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭、農業、林業、漁業、農林水産業協同組合 ○助成内容 ・無利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6 ・有利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8 ・助成期間:原則として県内の対象業種に就職してから8年間 ◆45千円×2人=90千円(助成中) ◆60千円×5人=300千円(新規)	390	新たに1名交付決定した。 町HPに制度の概要を掲載するとともに、県のHP上においても周知してもらっている。	0	申請者(新規) 5人	20%	【評価:D 計画より遅れている】 新規の申請者はあったが、計画に比べて申請件数が少ない。 県の制度周知と併せて町の制度の周知を引き続き行っていく。 新規申請者:実績1人/目標5人=20%	鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定者で湯梨浜町に定住する方について、県の制度の周知と併せて町の制度も周知し、今後も県とよく連携を図りながら制度の周知に取り組んでいく。	教育総務課
34 〈再掲〉 チャレンジショップ支援奨励金【Ⅰ:③商工業の振興にも記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ※限度額は、月5万円で交付期間は1年間 ◆補助金 新規分1件480千円 継続分1件300千円	780	■継続分=交付決定1件 ⇒令和2年10月に創業した事業者の令和3年4月から9月までの賃借料を支援する ■新規分=交付決定0件	150	新規申請1件	0%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 新規分の相談を1件受けていて、交付申請につながる見込み。	制度を継続して、町内での空き店舗や空き家などを活用する創業を支援していく。	産業振興課
35 雇用促進奨励金事業①	・雇用促進奨励金 町内の事業所が①シニア世代(55歳以上)②子育て女性(18歳以下の子どもがいる女性)③就職氷河期世代(昭和49年度から昭和58年度生まれ)④コロナウイルス感染症の影響による解雇や内定取り消しを受けた人—を6か月以上継続雇用した事業所に奨励金を交付する。 ◆補助金 4人分の制度利用を見込む。 20万円×4人=80万円	800	交付申請に必要な雇用計画認定申請が3人分あり、認定を行った。交付申請につながる見込み。	0	新規雇用者4人	0%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 現時点で3人分の制度利用を見込んでいる。	最新の雇用情勢にあった制度として運用していく。	産業振興課

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)		KPI			R4 実施方針	担当課
			執行 済額	目標	達成率	評価			
36 就職関連 情報提供 事業	県内就職を支援するため、県外の大学生などに就職関連情報を提供する。	0	0	県外の学生に年4回、就職関連情報を提供する県制度の活用を計画している。	0	情報提供1件以上	0%	【評価:D 計画より遅れている】 次回の県制度で情報提供を行う。	産業振興課
37 企業誘致 用地等情 報提供事 業	町内の企業誘致可能な土地や空き工場の情報を集約し、町ホームページなどを活用して情報提供を行う。	0	0	相談が1件あったが、町ホームページでの掲載に結び付かなかった。	0	情報提供1件以上	0%	【評価:D 計画より遅れている】 掲載できる情報を集約していく。	産業振興課
38 ビジネス人 材移住支 援事業	東京圏から町内に移住した者が、鳥取県が実施するマッチングサイトに掲載された求人就業し、3か月以上勤務している場合又は鳥取県が実施する起業支援金の交付決定を受けた場合に移住支援金を交付する。 世帯で移住した場合1,000千円、単身で移住した場合500千円 ◆補助金 1,000千円×1世帯=1,000千円	1,000	0	交付実績0件	0	1世帯(2人)移住	0%	【評価:D 計画より遅れている】 コロナ禍ということもあり、特に相談や問い合わせも受けていない。今後は、町ホームページやフェイスブックへの掲載など電子媒体の積極的な活用や、鳥取県とも連携の上、制度周知に努めていく。	企画課
39 中学校跡 地施設活 用事業	旧北浜・旧東郷中学校等跡地施設の有効利用を図るため、民間提案制度の活用等により、利用事業者を決定する。 《R3予算額》1,625千円(報償費327千円、需用費291千円、役務費5千円、委託料944千円)	1,994	71	9月に公共用地有効利用審査委員会を開催し、旧東郷学校給食センター等の施設(旧東郷中エリアの跡地施設の一部)利用希望者が作成した事業計画及び旧北浜中エリアの民間提案募集要項案について審議を行い、その結果を踏まえて、給食センター等の利用希望者の事業計画の採用を決定。現在当該事業者と事業化に向けた協議を実施中。	71	旧北浜中エリア及び旧東郷中エリアの利用事業者を決定する。	5%	【評価:D 計画より遅れている】 旧東郷中エリアの一部については公共用地有効利用審査委員会で利用希望者の事業計画を採用すると結論を出した。 その他の部分については民間提案募集を行い、利用事業者を決定していく。	企画課

(単位:千円)

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI		R4 実施方針	担当課	
					目標	達成率			評価
40 家庭子育て 支援事業	低年齢児(満2歳未満児)の家庭子育ての支援 生後8週を超え満2歳に満たない乳幼児を、昼間家庭で子 育てをする父母又は祖父母に対し給付金を支給。 育児休業給付金(手当)を受けている期間を除く。 乳幼児1人につき1月30,000円。 ◆5,392千円/3カ月×4回=21,568千円 通信運搬費40千円	21,608	■10/31現在 申請受付:74件見込 ■R3.4~6月分(7/26支払):4,771千円 ■R3.7~9月分(10/25支払予定):5,486千 円	10,272	年度末時点で2歳 未満児の家庭での 子育て率が68.8% 以上とする。	61%	【評価:B 計画以上に進んで いる】 10月末現在、2歳未満児254 人のうち、こども園等入園児 100人。家庭で子育てしている 児は154人。家庭子育て率 60.6%。	引き続き家庭で育児をする家 庭への給付を行い、経済的不 安を緩和し安心した育児環境 を補助する。	子 育 て 支 援 課
41 多子世帯保 育料軽減事 業	令和3年度無償化、軽減 【国】年収360万円未満の世帯。同時入所問わず 第3子以降児無償、第2子半額 【県】年収360万円未満の世帯。第1子と同時入所の 第2子、無償。年収360万円以上の世帯。 同時入所問わず第3子以降児無償 【町】年収360万円以上世帯。同時入所問わず 第2子軽減	0	計画内容に加えて、令和元年10月から国 の幼児教育・保育の無償化により、原則3 歳以上児の保育料が無料となり、保護者 の負担がさらに減っている。 第3子以降児出生数(出産祝い金支給申 請、決定数)決定 25件(10月末現在)	0	第3子以降児の出 産件数を令和3年 度まで毎年30人と する。(出産祝い金 支給ベース)	83%	【評価:B 計画以上に進んで いる】 国の保育料無償化もあり、保 育料の負担はかなり減ってき ている。11月以降も15人程度 出生予定あり、昨年実績(32 人)を超える見込みである。	引き続き保育料の無償化・軽 減を行い、多子世帯への支援 を行う。	子 育 て 支 援 課
42 第3子以降 中学校卒業 祝い金支給 事業 (第3子以降 出産・入学・ 卒業祝い金支 給事業)	多子世帯児童の健全育成、当該世帯への経済的負担の 軽減のため、出産・入学祝い金支給事業を拡大し、進学や 就職準備時である中学校卒業時に祝い金支給を行う。 (H28年度から卒業祝い金支給実施) ◆見込み 3,230千円 出産時 50,000円 × 31名 = 1,550千円 小学校入学時 30,000円 × 27名 = 810千円 中学校卒業時 30,000円 × 29名 = 870千円 通信運搬費 8千円	3,238	■10/31現在 申請受付:54件 ■入学祝い金:870千円 ■出産祝い金:1,250千円	2,120	第3子以降児の出 産件数を令和3年 度まで毎年30人と する。(出産祝い金 支給ベース)	83%	【評価:B 計画以上に進んで いる】 10月末現在、第3子の出生数 は、25件。11月以降の出生見 込は15人である。当初見込よ り9人増加見込	引き続き、第3子が出生した 保護者に対し祝金を支給して いく。	子 育 て 支 援 課
43 子育て世代 包括支援セ ンターの整 備①	・子育て世代包括支援センター事業 相談支援のワンストップ拠点となる子育て世代包括支援 センターを設置し妊娠、出産から就学前までの切れ目な い支援をめざす。 コーディネーターを配置し、必要な支援やサービスが受け られるよう情報提供、関係機関調整などを行う。 妊婦期、出産時から就園までの時期、就園時から就学ま でのそれぞれの時期に対象者全員への子育てプラン提 供、支援の必要な方への子育て応援プランの提供等を行 う。 ◆消耗品費、通信運搬費 67千円	67	■子育てプラン配布:妊娠届出者全員 乳幼児健診受診者全員 ■子育て応援プラン作成:妊娠届時や産 婦訪問時等に必要と判断した人全員(年 間目標45人 実績24人) ■町内関係機関と情報共有:(年間目標6 回 実績 子育て支援センターとの会3回 計3回)	23	○子育てプラン配 布:妊娠届出者全 員、乳幼児健診受 診者:全員 ○子育て応援プラン 作成:妊娠届時 必要と判断した人 全員(45人程度) ○町内関係機関 (要対協事務局・子 育て支援センター) との情報共有の 会:年6回 ○産科 医療機関との会:1 回	51%	【評価:C 計画どおりに進ん でいる】 概ね計画通りのプラン件数を作 成でき、支援の必要な対象者へ フォローができています。	引き続き、支援が必要な対象 者へ支援プランが提供できる よう継続していく。	子 育 て 支 援 課

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
44 子育て世代 包括支援セ ンターの整 備②	<p>・産前産後サポート事業 妊産婦が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、保健師による相談支援を行い、家庭や地域での孤立感の解消を図るため、主に自宅に訪問するなどし、個別に相談に対応する。 パート保健師賃金 【アウトリーチ型】※新型コロナ対応による電話訪問も含む 保健師が自宅に訪問し、個別に相談に対応する。 【デイサービス型】※新型コロナ対応で中止する場合あり。 公共施設等で集団形式により、同じ悩み等を有する利用者からの相談に対応する。 ◆職員賃金等 2,810千円、消耗品費 10千円</p>	2,822	<p>■産前産後サポート事業アウトリーチ型：26件 ■産前産後サポート事業デイサービス型 赤ちゃん広場7回 ハイハイ広場7回 プレママ広場7回 計21回</p>	1,347	<p>アウトリーチ型：年48件(延) デイサービス型： 赤ちゃん広場12 ハイハイ広場12 プレママ12回 計36 回</p>	56%	<p>【評価：C 計画どおりに進んでいる】 必要な対象者へのサポート支援は行うことができている。対象者から、「保健師さんからの電話があり安心感があった」との評価も聞かれた。引き続き、支援を実施していく。</p>	引き続き、産前産後サポートが必要な対象者へ支援を継続していく。	子育て支援課
45 子育て世代 包括支援セ ンターの整 備③	<p>・産後ケア事業 強い育児不安や家族等から産後の支援が得られない母子に対し、医療機関委託や助産師、保健師訪問、ヘルパー派遣等、宿泊、日中預かりなど様々な方法で、心身のケアや育児サポートを行う。心身の負担軽減により虐待の未然防止も図る。 【宿泊型】 母子を産科医療機関に宿泊させ、休養の機会を提供するとともに、心身のケアや育児サポートなどきめ細かい支援を行う。 【デイサービス型】 日中來所した者に対し、個別又は集団で心身のケアや育児サポート等の支援を行う。 ・母子來所 ・乳児一時預かり 【訪問型】 産婦の状態を把握し、必用と思われる家庭に助産師を派遣し、産婦の母体ケア及び乳児のケアを行う。 【産前産後ヘルパー派遣事業】主に出産後間もない時期に、家事支援が必要な家庭にヘルパー派遣を行う。 ◆助産師報酬 24千円、委託料 213千円(ヘルパー派遣・ショートステイ・デイサービス等)</p>	237	<p>■産後ケア事業訪問型2件 ■デイサービス型：3件 ■産前産後ヘルパー派遣：1回</p>	46	<p>訪問型：5件 宿泊型：2件 デイサービス型：10 件 ヘルパー派遣事業 7回</p>	21%	<p>【評価：C 計画どおりに進んでいる】 鳥取県産後ケア事業無償化事業を導入し、利用料無料とした。 新生児訪問等により、引き続き対象者の把握に努めていく。 また、母子保健法の一部改正により、産後ケアの対象産婦が産後1年未満とされたことに合わせ、産前産後ヘルパー派遣事業対象者の利用可能時期(現在産後1か月まで)を2か月までに延長した。</p>	引き続き、産後ケアや産前産後ヘルパー派遣が必要な対象者が、安心して受けられる支援を構築し、継続していく。	子育て支援課
46 不妊治療費 助成事業	<p>県の助成決定を受けた不妊治療を行う夫婦に対し、治療の種類ごと、回数ごと、年度ごとに定める額を助成する。 【治療の種類】 ◆特定不妊治療費 見込み32件 2,690千円 ◆人工授精費 見込み 4件 26千円 ◆不育症治療費 見込み 1件 50千円</p>	2,766	<p>【治療の種類】 ◆特定不妊治療費 11件 ◆人工授精費 4件 ◆不育症治療費 0件 制度創設からの(H26.4.1～R3.3.31)出産に至った率63.6%</p>	1,592	<p>利用件数 特定不妊治療32 件、人工授精4件、 不育症治療1件</p>	45%	<p>【評価：C 計画どおりに進んでいる】 新規に申請される夫婦もあり、申請数は順調に伸びている。</p>	不妊治療の保険診療化の動きがあるため、状況に応じて不妊治療を行う夫婦への支援を継続していく。	子育て支援課

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
47 ファミリーサ ポートセン ター事業の 充実	子育てを応援してほしい人(依頼会員)と子育てを応援したい人(提供会員)が育児の相互援助活動を行う。 調整役としてアドバイザー1人配置に係る賃金。 事業PR、会員の確保。 預かり体験。 ◆職員賃金等 2,435千円 ◆講師謝金、消耗品、郵券料 32千円 ◆活動保険料 83千円	2,550	10/31現在 実利用者数 10人	1,261	実利用者数の増。 年間実利用者数を 前年の1.5倍とす る。(8人×1.5=12 人)	83%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 10/31現在、R3年度新規依頼 会員数は8人、提供会員は2 人と少しずつ会員数を延ばし ており、提供会員の延びが芳 しくない。	引き続き提供会員を増やし、 依頼にすべて対応できるよ うな環境を整備していく。	子 育 て 支 援 課
48 病児・病後 児・夜間保 育事業	◆病児保育:74人(R2実績)(定住自立圏構想での取 組。事業受託者ババール園。実施場所県立厚生病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 712千円 ◆病後児保育:7人(R2実績)(定住自立圏構想での取 組。事業受託者十字会。実施場所野島病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 415千円 (上記は引き続き定住自立圏 で取り組む)	1,127	9/30現在 ◆病児保育:40人(実17人) ◆病後児保育:15人(実8人)	0	利用者数 病児保育 74件 病後児保育 7件	134%	【評価:B 計画以上に進んで いる】 コロナの影響が見られた前年 度に比べ、利用に回復傾向 がみられる。	病児保育について、利用申請 数が増加するにつれ、定員超 過で断った数も増加の傾向が みられる。現在は中部で1か 所の施設を1市4町で利用し ているが、新たな保育場所の 検討をすることが必要。病後 児保育については、利用希望 のすべてが対応できている。引 き続き1市3町で取り組む。	子 育 て 支 援 課
49 SNS等によ る子育て支 援情報の提 供	妊娠出産子育て期全般にわたる必要な情報をリアルタイムに提供していく方法としてフェイスブック等を立ち上げる。 子育て支援アプリを導入し、妊娠期から子育て期における子育て情報提供をタイムリーに行える体制整備を行う。 関係機関との連携会議を定期的に行い、情報連携を強化していく。 委託料 396千円	396	令和3年度母子手帳交付数(妊娠届者数) 76件 令和3年度新規登録者数62件(全登録者 数368件)	198	子育てアプリ等による情報発信。年 間母子手帳交付数 に対し、子育てア プリア登録者数を95% 以上とする。	82%	【評価:C 計画どおりに進ん でいる】 妊産婦や子育て中の保護者 に対し、母子手帳アプリを 活用した情報発信ができて いる。登録者数も増加している。	子育て世代包括支援センター 事業の一環として継続してい く。	子 育 て 支 援 課
50 放課後児童 クラブ・放課 後子ども教 室の推進①	放課後児童クラブ5カ所で運営。 放課後子ども総合プランに基づき、3小学校においては、放課後子ども教室と一体的に実施する。コミュニティ施設で実施する児童クラブについても、教育委員会と連携を取りながらゆりはま自主学习の広場事業と連携実施する。 ◆羽合第1:9,154千円、羽合第2:14,956千円、東郷第1:9,023千円、東郷第2:9,024千円、泊:8,714千円	50,871	各児童クラブ利用実人数 羽合第1:70人 羽合第2:152人 東郷第 1:93人 東郷第2:58人 泊:53人	20,882	利用希望に応じた 利用となるよう、登 録者数に対する利 用者数の割合を、3 月利用について 100%とする。	58%	【評価:C 計画どおりに進ん でいる】 現時点で利用希望者全員が 利用している。	引き続き放課後の時間帯の 子どもの受け皿を確保し、子 どもの健全な育成に努める。	子 育 て 支 援 課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI		R4 実施方針	担当課	
					目標	達成率			評価
51 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進② ゆりはま自主学習の広場事業(放課後子ども教室)	【放課後子ども教室推進事業】 町内3小学校の空き教室を使用し、年間30回程度の学習支援活動を行う。 放課後に週1回(月3回程度を予定)と夏季休業期間中に開催し、小学校低学年からの学習習慣の定着を目指す。指導については、教員OBを含めた地域人材を活用する。 ◆報償費: 894千円 ◆消耗品: 40千円 ◆通信運搬費: 7千円 ◆保険料: 64千円 計: 1,005千円	1,005	各小学校の空き教室等を利用し、月3回程度で教室を開催した。 目的:児童が放課後を安心、安全に過ごすことのできる環境整備、学習習慣の定着 ・参加児童 羽合小: 26名(1年生)、泊小9名(1~3年生)、東郷小: 25名(1・2年生) ・指導者: 16名(教員OB、元役場職員などの地域の方) ・実施回数: 16回(10月31日現在) 今年度の事業を始める前に「ゆりはま自主学習の広場連絡協議会」を各教室ごとに開催し、連携しながら事業を進める体制づくりに努めた。参加者は、学校、指導者、放課後児童クラブ支援員代表、事務局担当者。	339	連絡協議会を開催した上で各小学校等で子ども教室を実施し、学習習慣の定着を図る。 ・参加児童数を50名とする。(対象児童の20%)	100%	【評価: C 計画どおりに進んでいる】 -参加児童合計: 60名 各教室ごとに連絡協議会を開催した。 各教室とも、指導者が宿題への支援と補充プリント等を準備し、児童が意欲的に学習できる環境づくりに努めており、落ち着いた運営ができてい る。 ・連絡協議会開催: 1回×3教室 ・実施回数: 16回/30回 ・達成率: 60人(参加児童数)/50人(目標人数) = 100% (120%)	対象者の2割程度としている参加児童の維持を目指す。(羽合小、東郷小20名程度、泊小10名程度) 各教室とも5名程度の指導者を目標とし、指導者の安定的確保を目指す。 今後も連絡協議会を開催し、関係者が連携しながら事業を進める体制づくりに努める。	教育総務課
52 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進③	放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保し、地域の方々の協力を得て、子どもたちに学習や様々な体験、交流活動等の取り組みを実施し、子どもたちが地域との交流を深め、心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進する。 R3年度も継続して羽合地域(長瀬、東田後、橋津)、東郷地域(舎人、大介)の、計5教室で事業を実施予定。 ◆報償費(5教室分) 2,773千円、消耗品費 120千円	2,893	平日の放課後や週末など、子どもたちの安心・安全な居場所、活動拠点を確保し、学習支援や様々な体験活動の機会を提供した。4月から東郷地域、羽合地域において4教室を開設し、地域の方々の協力を得ながら事業を実施した。東田後区寺子屋教室については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休止中。 【R3参加延人数】(10月末時点) (R2) ながせキッズくらぶ 27人(27人) 舎人放課後子ども教室 193人(196人) 大介といっしょ 81人(73人) 橋津子ども塾 510人(422人) 東田後寺子屋教室 0人(407人) 合計 811人(1,125人)	634	放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保する。 年間参加延児童数2,000名以上とする。	40.6%	【評価: C 計画どおりに進んでいる】 それぞれの教室で事業が実施され、子どもたちの居場所の提供、学習支援、体験活動などが実施できたが、新型コロナウイルス感染症の影響で一部の教室が開催を中止したり、参加者数が減少しており、目標の達成が見込めない状態である。	引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、身近な地域における放課後や休日の安全・安心な居場所としての放課後子ども教室を実施できるよう、指導者と連携を図りながら進めていく。	生涯学習・人権推進課
53 ゆりはま自主学習の広場事業(ゆりはま地域未来塾)	【地域未来塾推進事業】 町内在住の地域人材や学生ボランティア等の協力を得て、平日の放課後や土曜日の部活動終了後に、希望する中学1年生を対象に実施する。 基礎学力の定着と学習習慣の定着を目指すもので、オール湯梨浜体制での町の将来を担う中学生に対し自主的な学習の機会を提供する。 ※国の『学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金』を活用(補助率: 国、県、市町各1/3) ◆報奨金: 446千円 ◆消耗品: 22千円 ◆郵券料: 14千円 ◆保険料: 48千円 計: 530千円	530	湯梨浜中学校1年生19人の参加を得て、平日6回、土曜6回の計12回を開催した(10月31日現在)。 地域住民11人が学習支援にあたっている。 各月2回、年間20回開催する予定としており、予定どおり開催することができている。 1回目を開催するにあたって、運営委員会を開催し、生徒の支援の在り方等について共通認識を持って取り組むことができている。	229	基礎学力と学習習慣の定着を図るため、運営委員会を開催し、中学校1年生を対象に地域未来塾を実施する。 ・参加生徒数を対象生徒数の約20%を目標とする。	65%	【評価: C 計画どおりに進んでいる】 参加している生徒たちは意欲的に学習に取り組んでいる。生徒の基礎学力の定着と学習習慣の定着に寄与していきたい。 ・実施回数: 12回/20回 ・参加率: 19人/149人×100 ≒ 13%(149人: 1年生全生徒数・19人: 参加生徒数) ・達成率: 13%(参加率) ÷ 20%(目標) = 65%	コミュニティ・スクール、地域学校協働活動を一体的に推進していく中の一つの活動として継続していく。また、地域からの参画も増やしていきたい。	教育総務課

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)		KPI			R4 実施方針	担当課
			執行 済額	目標	達成率	評価			
54 学校支援ボランティア事業の推進	【地域による学校支援推進事業】 各小中学校が作成した学校支援ボランティア人材バンクに登録された学校支援ボランティア登録者へのボランティア保険加入手続きを行う。 また、自校だけでは要請することが難しいボランティア活動の内容に対しては、他校人材バンクへの登録者情報を必要に応じて情報提供し、実施困難と思われるボランティア内容の実施応援体制を支援する。 ◆ボランティア保険料 105千円	105	73	各下校の見守り活動や環境整備、学習支援等のボランティアが行われ、子どもたちの学び、成長、安全確保等に大きく寄与している。子どもたちの登下校の見守りを行う「オレンジベスト隊」も学校区を超えてさらに広がりを見せている。東郷小学校オレンジベスト隊が県交通安全功労表彰を受けることとなった。	各学校のニーズに沿った地域による学校支援を実施する。 ・小中学校で230名の登録を目標とする。(令和7年度までに250人の登録を目指す。)	90%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 羽合小:50人・泊小:56人・東郷小:99人・湯梨浜中:1人の計:206人を学校支援ボランティアとして登録(保険加入)している。コミュニティ・スクールの取り組みにより、着実に人数を増やしている。 ・達成率:206人(実績)/230人(目標)×100≒90%	上記と同様、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動を一体的に推進していく中で、学校の応援団としての学校支援ボランティア活動をさらに充実させていく。	教育総務課
55 ふるさと教育の推進	【ふるさと教育推進事業】 総合的な学習の時間で行われている地域学習の取組みを拡充するため、各小中学校独自の取組みにおける地域人材の活用や消耗品等の支援を行う。 ・羽合小学校:体験学習(町探検、文化伝承、平和学習ほか)、交流学习(町内高齢者等との交流、町を元気にする活動ほか) 123千円 ・泊小学校:体験活動(水産教室、泊貝がら節伝承、ワカメ栽培、GG体験ほか)、食育(とまり食の恵ほか) 102千円 ・東郷小学校:体験学習(梨づくり、東郷池体験活動、GG体験ほか)、環境教育(サケ飼育) 112千円 ・湯梨浜中学校:湯梨浜町調べ、職場体験、観光地PR動画制作ほか 120千円	457	364	今年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、計画どおりにふるさと教育を進めることができず、可能な方法で地域学習を行っている。 ふるさと湯梨浜についてのアンケートは12月頃に実施予定。 ・羽合小:命の大切さを考える学習(助産師来校)、町を元気にする活動(アロハ委員会) ・泊小:泊貝がら節、梨づくり、クラブ活動でのグラウンド・ゴルフ体験 ・東郷小:梨づくり、カヌー体験 ・湯梨浜中:家庭部による七夕茶会、地域訪問、事業所訪問に係る調査活動	各学校でふるさとに愛着を持つ児童生徒の育成をめざし、各種事業等実施する。 アンケート目標 85%以上。	0%	【評価:D 計画より遅れている】 今年度も外部講師の招聘などが困難であり、各学校が可能な方法で補助金等も活用しながら地域学習を進めている。 ・事業実施:11回/30回 ※アンケートは12月に実施予定のため、達成率は0%	コロナ禍ではあるが、各校で活動の内容方法を工夫し、実施している。今後さらに活動の方法などを工夫し、児童生徒がふるさとに愛着をもてるような活動を計画していく。	教育総務課
56 小学校社会科副読本作成事業	【社会科副読本作成事業】 町に誇りと愛着を持ち、大人になっても湯梨浜町に住みたいという気運を子供の時から醸成していくため、また、社会科の学習時に町を勉強するため、小学3・4年生を対象に社会科の副読本を作成し、授業等で活用することによりふるさと教育の推進を図る。 改善点や教科書改訂の内容等を確認し、次年度の副読本に活かすため、編集委員会を年2回開催する。(出席者:小学校社会科教諭等) ◆報償金2,400円×3名×2回=15千円 ◆印刷費 420千円	435	0	町内小学校3年生を対象に、年度初めに社会科副読本を配布した。 各小学校において、3・4年生の社会科の学習を中心に副読本を活用している。 副読本を授業のきっかけづくりに活用し、教材開発をしている指導者もいる。 8月4日に第1回編集委員会を開催し、現在は令和4年度の副読本の発行に向けてあらたな単元の資料を収集し、作成に取りかかっている。 第2回の編集委員会を11月頃に開催する予定にしている。	改善点や教科書改訂の内容等を確認し、次年度の副読本に活かすため、編集委員会を年2回開催する。 また、次年度の副読本発行の際に一単元を追加する。	50%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 学校が副読本を活用して、湯梨浜町を題材に学習を進めたいという強い思いを持っており、教員が活用しやすい副読本の作成に努めている。 ・達成率:編集委員会1/2回開催=50%	授業で十分に活用してもらえ副読本となるよう学校の意見を聞きながら、わかりやすさや内容の充実を意識し、副読本を作成する。	教育総務課
57 ワーク・ライフ・バランスセミナー事業	生活と仕事を両立できる職場環境づくりについて理解を深め、子育て等しやすい環境づくりを推進するため、町内中小企業、一般勤労者等を対象にワーク・ライフ・バランスセミナー開催する。 ◆需用費 10千円 ◆委託料 200千円 ◆男女共同参画環境づくり奨励事業補助金 170千円	380	50	■男女共同参画推進企業数 新規1社認定(湯梨浜学園) 累計17社 ■男女共同参画環境づくり奨励事業補助金 1社(湯梨浜学園)交付済	鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数:17社(前年比1社増)	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 男女共同参画認定企業が1社増加したことで、当面の目標は達成したが、引き続き企業訪問など制度の周知を行って認定企業数を増やしていく。	今後も鳥取県と連携し、企業訪問等を行うことで、更なる認定企業数を増やしワーク・ライフ・バランスを推進していく。	企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

(単位:千円)

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
58 地域で取り組む介護予防活動推進事業	<p>①養成した100名の介護予防・健康づくりリーダー(ゆりりんメイト)に地域で活躍してもらうため、継続した働きかけや支援を行う。また、ゆりりんメイトを含む地域住民が担い手となり、新たに健康づくり・介護予防・フレイル予防等を目的とした地域サロン活動に取り組む地域・団体等を増やすため、短期集中サロンの実施や地域サロン活動に対する助成を行う。</p> <p>②導入した認知症診断プログラムやフレイル評価・管理システムを活用して、高齢者等の状態を判定し、町が実施する運動教室や介護予防教室、筋力トレーニングや脳活トレーニング事業、地域サロン等を体系化して個々の状態に合わせたプログラムを提供するとともに、プログラム実施前後の個々の状態を管理・評価して段階に応じた適切なプログラムにつなげていく。</p> <p>◆脱フレイル大作戦 1,945千円 消耗品 14千円、通信料・郵券料 72千円 プログラム保守料 374千円 システム使用料 1,485千円</p> <p>◆脳活トレーニング事業 2,756千円 消耗品費 20千円、郵券料 9千円 事業委託料 2,727千円</p> <p>◆筋力トレーニング事業 8,756千円 消耗品費 20千円、郵券料 38千円 事業委託料 8,698千円</p> <p>◆ミニデイサービス事業 3,862千円 消耗品費 20千円、通信料・郵券料</p>	17,319	<p>①7月13日のサロン世話人交流会(社協主催:参加者25名)において、コロナ禍で介護認定率が増加している現状とコロナ禍でもフレイルに留意したサロン活動の必要性について、短期集中型サロン活動支援事業(短期集中ゆりりんサロン)と地域介護予防活動支援補助金について説明した。9月28日、田後南部高齢者クラブから短期集中ゆりりんサロン新規の申込有り11月から対応予定。また、9月18日、原地区でのサロン再開についてサロン世話人に勧奨したところ、11月4日再開実施予定となる。10月5日に宇野地区サロン世話人へサロン再開実施を勧奨した。</p> <p>②各種プログラムを実施し、介護予防事業の勧奨や脳活トレーニング事業等委託事業での個別指導に活用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイル評価システムの実施:65歳以上の者に対し配布回収した基本チェックリスト回答者2,693人に対しフレイル判定結果を個別通知した。 ・運動処方プログラムの実施:57人(延85人) ・物忘れ相談プログラムの実施:113人 <p>(評価実施者実人員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筋力トレーニング利用者 59名 ・脳活トレーニング利用者 16名 ・ミニデイサービス利用者 15名 	5,884	<p>【目標】</p> <p>①新たに健康づくり・介護予防・フレイル予防等を目的とした地域サロン活動に取り組む地域・団体を年間3団体増やす。</p> <p>②導入したプログラムで700人以上の個別評価を実施する。</p>	66%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】</p> <p>①コロナ禍の影響で、サロンの実施、再開について積極的な勧奨ができなかった。 新規:田後南部高齢者クラブ 1団体/3団体=16%/50%</p> <p>②コロナ禍の影響により、筋トレ等委託事業の参加者や、介護予防教室の開催等は最小限となったが、今年度初めて基本チェックリスト回答者全員に対しフレイル判定結果を個別通知した。</p> <p>各種プログラムの実施者 2,891人/700人×0.5=206.5% =50%/50%</p> <p>達成率 ①16%+②50%=66%</p>	<p>①コロナ禍であっても感染防止に留意しながらサロンが実施できること、その必要性を周知啓発し、サロン未実施地区、サロン休止地区の再開について声掛けを継続していく。</p> <p>②関係課と連携し高齢者の集まり等の機会を活用し、各種プログラムの実施を積極的に行う。</p>	長寿福祉課
59 歯・口の健康づくり推進事業	<p>フッ化物洗口事業は、教育総務課に移管。協力しながら、歯・口の健康づくりを推進する。</p> <p>健康推進課としての関わりとしては、</p> <p>①「小学校におけるフッ化物洗口手引き」及び「中学校におけるフッ化物洗口手引き」の見直しの確認を中部歯科医師会歯科衛生士及び学校歯科医、県歯科担当者に依頼。修正後は、各小中学校に配布する。</p> <p>②説明会の要望があれば、出向く。</p> <p>③フッ化物洗口の評価を行う。</p>	0	<p>①小学校・中学校のフッ化物洗口の手引きを、県歯科医師会、中部歯科医師会、学校歯科医(はまよし歯科クリニック、あだち歯科医院、くらしげ歯科クリニック)に確認を依頼。修正後、各小・中学校に配布した。</p> <p>②現時点で説明会の要望はなく、実施していない。</p> <p>③フッ化物洗口の効果について、湯梨浜町、鳥取県、全国のデータを活用して資料を作成中。完成後、教育総務課に提出し、各小・中学校に配布予定。</p>	0	<p>①必要に応じた手引きの見直し(33.3%)</p> <p>②必要に応じた説明会の開催(33.3%)</p> <p>③フッ化物洗口の評価(33.3%)</p>	33%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】</p> <p>①令和3年4月29日に実施済み(33.3%)</p> <p>②令和3年9月末時点で要望はなし(0%)</p> <p>③現在、フッ化物洗口の評価を作成中(0%)</p>	<p>フッ化物洗口事業の実施により、年により多少の増減はあるものの、小・中学校のむし歯罹患率は減少傾向にある。今後も、事業の評価を行いながら、各小・中学校にフッ化物洗口の効果を説明していく。</p>	健康推進課

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
60 健康相談・健康教室等の実施①	<p>温泉を活用したウォーキング教室の実施(龍鳳閣) 年間計画に沿って実施(週2回、年79回)</p> <p>《健康増進事業》 ◆講師謝金 395千円</p>	395	<p>□健康づくりのための水中運動を月曜日から木曜日に龍鳳閣で実施。 □特措法の発令に伴う外出自粛要請を受け、8月3日～9月12日までの間、教室開催を中止とした。 □参加延べ人数 4月:140人、5月:178人、6月:192人、7月:96人、8月:実施なし、9月:94人、10月:170人 【合計:870人】</p>	145	<p>【目標】 教室参加人数を1,600人以上 ※R2年度参加者1,455×1.1≒1,600人</p>	54%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、一時的に事業を中止としたが、1カ月平均(8月を除く)で145人の参加があり、概ね計画どおりに進んでいる。</p>	<p>町民の健康づくり、健康寿命の延伸に向けた活動の一つとして、引き続き取り組みを実施していく。</p>	健康推進課
61 健康相談・健康教室等の実施②	<p>《つみたて貯筋運動教室他》 町内の体育施設等を利用して運動教室を開催し、運動の習慣化や健康づくり、介護予防として取り組む。また、月1回運動教室と併せて、生活習慣病予防のための健康講座を開催し、町民の生活改善を促す。</p> <p>《積立貯筋運動(健康づくり)事業》 ◆講師謝金 408千円 ◆消耗品費 77千円 ◆通信運搬費 3千円 ◆委託料 639千円 計 1,127千円</p>	1,127	<p>【運動教室】 実績:教室参加延べ人数(10月22日時点) □つみたて貯筋(とうごう教室):210人(21回)《7回中止》 □つみたて貯筋(とまり教室):183人(19回)《7回中止》 □つみたて貯筋(はわい教室):50人(4回) □ココカラ運動教室:221人(18回)《6回中止》 計 664人(62回) *664人÷62回≒10.7人</p> <p>【健康講座】 4月「噛む力を鍛えよう」:10人 5月「身体づくりと食事バランス」:15人 6月「血液検査について」:13人 7月「唾(唾液)出ますか」:14人 9月「水分補給」:9人 10月「お口と全身の病気の関係は?」:12人</p> <p>※大雨警報の発令(7月7日)、新型コロナウイルス感染拡大による特措法の外出自粛要請(8月3日～9月12日)、大雨被害による施設利用中止(7月8日～28日)等の要因で、運動教室及び健康講座を中止する期間が長期となった。</p>	927	<p>【目標】 教室参加延べ人数を1,750人以上 ※R2年度実績参加人数1,214人/114回≒1回あたり10.6人 ※R3年度目標1回あたり12人×開催予定回数146回=1,752人</p>	37%	<p>【評価:D 計画より遅れている】 新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、教室が予定どおり開催できなかった。健康二次被害防止の観点からも、感染防止対策を徹底しながら、運動機会の創出と広報による参加を促していく。</p>	<p>町民の運動習慣の定着化はもとより、運動不十分層にアプローチし、自発的な運動意欲を促進するため、引き続き運動機会の場を提供していく。</p>	健康推進課

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
62 健康相談・ 健康教室等 の実施③	<p>居住地区周辺でのウォーキング教室開催により、ウォーキングの習慣化を図り、町民の健康につなげる。</p> <p>◆自治会4回、事業所2回</p> <p>《ノルディックウォーキング教室事業》</p> <p>◆委託料 112千円</p>	112	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、不要不急の外出や人と人との接触機会を減らす行動の必要性が叫ばれる中、自治会等での教室は開催していない。</p> <p>□緊急事態宣言が解除され、町報等での周知を開始した。</p>	0	<p>【目標】</p> <p>運動効果の周知により、ノルディックウォーク教室の参加者を70人とする。</p> <p>※R2実績 教室開催1回 参加者24人</p> <p>※R元実績 教室開催2回 参加者61人</p>	0%	<p>【評価:D 計画より遅れている】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、健康教室の開催を自粛する自治会が多くみられた。健康二次被害防止の観点からも、町報やホームページなどでPRしながら、コロナ終息後の教室の開催を促していく。</p>	<p>町民の健康づくりや運動の習慣化を図るため、引き続き取り組みを実施していく。また、教室を開催する対象者や、教室の内容についても、参加者の増加につながるよう検討していく。</p>	健康推進課
63 SIBを活用した飛び地型自治体連携事業(食と健康のまちづくり事業)	<p>【地方創生推進交付金】</p> <p>タニタ健康プログラムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タニタ健康システムの運用 ・タニタ健康プログラムの推進 <p>《SIBを活用した飛び地型自治体連携事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆普通旅費 716千円 ◆消耗品費 1,716千円(ポイント景品) ◆通信運搬費 339千円 ◆委託料 13,884千円 ◆使用料及び賃借料 4,195千円(活動量計ID、サイト等 使用料) <p>計 20,850千円</p>	20,850	<p>□歩数向上施策として、4月に推奨歩数達成キャンペーンを開催。達成者120名。</p> <p>□町報やホームページ、ワクチン接種会場や健診会場等での情報発信のほか、四半期毎にアドバイスシートの送付を実施。</p> <p>□新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言等の影響を受け、会員向けセミナー等は実施できていない。</p>	92	<p>【目標】</p> <p>運動管理システム(活動量計等)を利用した「ゆりはまヘルシーくらぶ」の会員を520名とする(R3)。</p> <p>※最終1,400名とする(R6)。</p>	95%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】</p> <p>毎月の町報での広報や、既参加者からのクチコミによる誘引により、参加者数自体は徐々に目標数に近づいている。</p> <p>ただし、参加者向けセミナーなどの予定事業はコロナ禍により開催できておらず、運動継続意欲を切らさないための取り組みの検討・実施が必要である。</p> <p>【参加者数】 496名(10月22日時点)</p>	<p>潜在的なウォーカーは多数存在していると予測されるため、あらゆる人に情報が届く工夫を検討しながら、会員獲得に努めていく。また、事業の趣旨を踏まえ、特定保健指導対象者をはじめとする運動不十分層や、コミュニティ参加が不足しがちな後期高齢者(特に、80歳以上)の獲得に一層注力していく。</p>	健康推進課
64 全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」事業の推進①【Ⅲ:①移住定住の推進にも記載あり】	<p>【地方創生推進交付金】</p> <p>・生涯活躍のまち推進事業(地方創生推進)</p> <p>28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の方々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯梨浜まちづくり株式会社」等、官民が連携し一体となり推進していく。</p> <p>◆生涯活躍のまちPR業務(情報発信)7,066千円(旅費452千円、役員費1,045千円。委託料5,569千円)</p> <p>令和3年度は、都市圏(東京、大阪)でのセミナー、オンラインセミナー、現地ツアーを実施する。</p>	7,176	<p>レークサイド・ヴィレッジゆりはまの一般分譲地の建設・入居、福祉ゾーンの2か所(4月、9月)の事業が始まった。</p> <p>■8月28日大阪日日新聞で、生涯活躍のまちの取組、レークサイド・ヴィレッジゆりはまの概要を掲載してPRした。</p>	336	<p>〈推進交付金〉</p> <p>①県外からの移住者:185人(R3)、925人(R6)</p> <p>②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(R3)、35団体(R6)</p>	64%	<p>【評価:D 計画より遅れている】</p> <p>①4月~9月:52人。52人/185人=28%</p> <p>②1団体。1団体/1団体=100%</p> <p>(28%+100%)/2=64%</p>	<p>レークサイド・ヴィレッジゆりはま事業は順調に進んでいるが、継続してPRしていく。関係人口を新たな切り口としてオンラインを含めたセミナー、ツアーを開催して、湯梨浜町ファンを増やし、将来的な移住定住へつなげる。</p>	みらい創造室

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
65 全世代・全員活躍型 「生涯活躍のまち」の 推進①	【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍ポータル「カラフル」出展(地方創生推進) 生涯活躍のまちに取組む全国5自治体(北海道東川町、福島県伊達市、山梨県都留市、湯梨浜町、南部町)が連携して東京に相談窓口を設置して、移住定住へ向けた相談受け付けや、イベントを開催して生涯活躍のまちの情報発信を実施する。		■7月17日オンラインで合同イベント「まちづくりサミット」を実施。延べ125人の参加者だった。 ■8月5日オンラインで単独イベント「ゆりはまカレッジ①」を実施。19人の参加者だった。 ■8月19日オンラインで単独イベント「ゆりはまカレッジ②」を実施。16人の参加者だった。		〈推進交付金〉 ①県外からの移住者:185人(R3)、925人(R6) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(R3)、35団体(R6)	64%	【評価:D 計画より遅れている】 ①4月～9月:52人。52人/185人=28% ②1団体。1団体/1団体=100% (28%+100%)/2=64%	生涯活躍ポータル「カラフル」の実績を確認し、東京での相談、PR窓口として最適な方法を検討する。	みらい創造室
66 全世代・全員活躍型 「生涯活躍のまち」事業の推進② 【Ⅲ:①移住定住の推進にも記載あり】	・地域おこし協力隊事業(生涯活躍のまち) 地域おこし協力隊3名を任命し、「湯梨浜町版生涯活躍のまち」実現に向けて設立された「湯梨浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたるまちづくりに関連する事業の運営などの中核を担い、活動するもの。 【地域おこし協力隊】 ・まちづくり会社で活動(3名) 13,159千円	13,159	総合相談センターどれみを拠点として、生涯活躍のまちに関する空き家利活用と情報発信を行っている。 ■空き家の利活用(2人) 毎月のどれみでの空き家相談会を実施している。相談会で相談を受けた結果、1件の空き家情報バンクへの申請を行った。 ■情報発信(1人) 地域おこし協力隊Facebook「ゆりはまフェローズ」で町の情報発信を行い、フェローが62人増加した。(9月30日時点)	5,067	〈推進交付金〉 ①県外からの移住者:185人(R3)、925人(R6) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(R3)、35団体(R6)	64%	【評価:D 計画より遅れている】 ①4月～9月:52人。52人/185人=28% ②1団体。1団体/1団体=100% (28%+100%)/2=64%	生涯活躍のまちの移住の受入として空き家を利活用した住居の確保と移住定住に結びつく契機となる関係人口の創出は重要であるため、引き続き地域おこし協力隊を配置して活動を行う。	みらい創造室

(単位:千円)

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
67 縁結び支縁員事業	晩婚化や少子化が進む中、結婚を望む男女の出会いを創出する「縁結び支縁員」の活動を支援することで人口増加や次世代を担う住民の定住を促進する。 ◆縁結び支縁員 情報交換会、研修会 出席報償金、旅費 123千円 ◆婚姻成立時報償金 30千円	153	■縁結び支縁員の個々の活動のみで、中部広域主催及び町主催の情報交換会の開催はなし。	0	縁結び支縁員事業等により婚姻した件数:年1件	0%	【評価:D 計画より遅れている】 下半期に町主催の情報交換会の開催を計画している。	縁結び支縁員に婚活イベントの情報提供やエントリーのナコード制度の紹介など情報提供を引き続き行い、マッチングの機会を増やすことで、成婚につなげていきたい。	企画課
68 婚活イベント事業(広域連携)	中部地区市町と連携し、婚活イベントを開催することにより、結婚を希望する人の出会いの機会を広域的に拡大するなど、少子化傾向の改善に取り組む。 ※中部定住自立圏事業で実施する。 ・広域連合負担金 200千円	200	上半期のイベント開催は無し。 中部地区市町と連携し、10月からイベント等を開始。昨年度、コロナ禍により、開催頻度が少なかったため、今年度は昨年度より多数開催予定。 10月は4回実施(セミナー2回、イベント2回) (イベント:合計5事業14回を予定) (相談:11月~2月の間に随時実施)	0	令和3年度に広域連携による婚活イベントを実施。 パーティー型イベント:2回 婚活セミナー:2回	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 下半期にイベントを計画 ■セミナー:オンラインで実施予定(2回実施済) ■個別相談会:オンライン・対面で実施予定 ■婚活イベント:規模を縮小し4種類のイベントを実施予定 10/31~2/6にかけて複数回を予定(2回実施済) ■エントリー共催イベント:11/28予定	コロナ禍であっても、オンライン等の対策を行ったうえで、継続して実施していきたい。	企画課

(単位:千円)

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
69 IUUター ン促進事業	地域の将来を支える人材の呼び込みを図るため、都市圏での移住定住相談会に参加し、本町の魅力を積極的に発信する。また、移住コーディネーターを設置し移住相談窓口として各種支援制度の紹介や空き家、住宅情報の提供などを実施し、移住促進を図る。 《R3予算額》3,916千円(旅費351千円、需用費25千円、役務費40千円、委託料3,500千円)	3,916	<ふるさと鳥取県定住機構主催> ■7月10日鳥取県来客(オンライン)に出展した。 ■7月18日住む・働く・鳥取県移住フェアに出展して4組の相談を受けた。 <町主催> オンライン相談会を5回実施し、5組の相談を受けた。	0	移住について具体的な相談に入っている者数:5件	80%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 具体的な相談に入っている相談者4件(相談会2件、昨年度からの継続相談2件) 4件/5件=80%	東京、大阪など現地での相談会へ出展し直接相談者とつながるとともに、オンラインを活用した地域を問わない相談会を継続していく。	みらい創造室
70 空き家情報 バンク活用 促進事業	①空き家情報バンクの運用により空き家所有者と利用希望者のマッチング、紹介を行う。 ②空き家情報バンク登録物件に県内からの町外者が転入する場合に、空き家所有者が行う改修等の費用を補助する。 上限:250千円 補助率1/2 予算:250,000円×1件=250,000円 《R3予算額》補助金 250千円	254	①空き家情報バンク成約数 0件(制度でのマッチング利用) R2年度末登録件数:8件 新規登録:2件 登録抹消:3件 (内訳:県外からの制度利用者1件、県内の制度未利用者1件) ②交付申請 0件	0	①町外(県内)利用者からの空き家バンク物件成約数:1件 ②町空き家改修補助金利用:1件	0%	【評価:D 計画より遅れている】 ①空き家登録件数が少なく、また、状態の良いものは高額であるなど、条件面が難しい状況もある。 ②空き家バンクに登録されている物件でも空き家所有者が改修費用を負担する物件が少なくなっている。	空き家発掘担当の地域おこし協力隊や移住コーディネーターとの連携を深め、空き家登録物件の増及び移住希望者への適正な情報提供に努めていく。	企画課
71 空き家対策 事業	①空き家改修事業補助金 県外からの移住定住希望者に空き家を提供する人に対し、空き家の改修費を最大500千円補助する。 上限:500千円 補助率1/2 《R3予算額》補助金 500千円 ②空き家利活用流通促進事業 町内空き家を利活用する町内の個人(転入予定を含む)に対し、空き家の改修費を補助する。 上限 住宅:500千円 非住宅:900千円 補助率 1/2 《R3予算額》補助金 1,900千円	1,900	①交付申請(9/24時点) 0件 ②交付申請(9/24時点) 0件	0	移住希望者へ空き家提供:2件	0%	【評価:D 計画より遅れている】 相談をあるものの、申請に至っていない。 ①空き家バンクに登録されている物件でも空き家所有者が改修費用を負担する物件が少なくなっている。 ②1件相談があったが、別事業を利用すること申請には至らなかった。また、1件は転入同居後の相談であり、該当とならなかった。	今後も引き続き補助制度の周知を図り、事業を実施していく。特に②については、転入前の申請が必要となるため、周知の方法を検討し、移住者に制度を活用してもらえるよう努めていく。	企画課
72 移住定住者 住宅支援事 業①	県外の人又は県外から町に転入して6か月を経過していない人が住宅の新築、購入又は改修をする場合に補助する。 《R3予算額》4,500千円 移住定住(土地開発公社)2,000千円×1件 移住定住2名以上1,000千円×2件 移住定住1名500千円×1件	4,500	◆交付決定(9/24時点) 2件 移住定住2名以上1,000千円×1件 移住定住1名 500千円×1件 ◆交付済額(9/24時点) 0件	0	県外からの転入者の定住:4件	37%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 HP、町報等で周知を行っている。2件の申請を受け付け、交付決定している。3名が転入予定。	今後も引き続き補助制度の周知を図り事業を継続し、本町への移住定住の魅力を高めたい。	企画課

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
73 移住定住者 住宅支援事 業②	・移住定住者中古住宅修繕支援事業 中古住宅を購入し県外から町内に移住してきた者又は県外から町内に移住し中古住宅を購入した者で、移住から5年を経過していない者を対象に、購入した中古住宅の修繕費用の一部を補助する。 上限額:250千円 補助率:1/4 《R3予算額》 250千円×1件	250	◆交付決定(9/24時点) 0件 ◆交付済額(9/24時点) 0件	0	補助金利用: 1件	0%	【評価:D 計画より遅れている】 相談をあるものの、申請に至っていない。	R3に創設した新しい補助制度であり、今後も引き続き制度の周知を図り事業を継続して本町への移住定住の魅力を高めたい。	企画課
74 町外者による「ゆりはま暮らし体験ボランティア」の宿泊費助成事業	町内で移住定住希望者にボランティアで作業を行ってもらうことで、地域間交流と地域の人手不足の解消を図る。 ボランティア受入者に報償費を支払い、ボランティア従事者には宿泊費を負担する。 ◆ボランティア受入報償金 70千円 ◆ボランティア受入委託料(宿泊)42泊 301千円 ◆宿泊費補助 26千円 ◆通信運搬費 4千円	401	ボランティア従事者数:0名	0	ボランティア従事者:14名	0%	【評価:D 計画より遅れている】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受け入れを一時停止している。	関係人口の拡大も期待できる事業であり、今後も受け入れ先の理解も得て事業を継続していく。	企画課
75 若者夫婦・子育て世代住宅支援事業	どちらかが35歳以下の夫婦、中学生以下の子どもが2名以上いる世帯主への住宅新築・購入費に対して補助金を交付。 新築・購入 500千円×41件=20,500千円 新築・購入(中山間地域かさ上げ分) 100千円×6件=600千円 新築・購入(土地開発公社)1件 1,000千円 新築・購入(レークサイドビレッジ) 600千円×5件=3,000千円 合計 47件、25,100千円	25,300	◆交付決定(R2債務負担含) 57件 31,507千円 新築・購入 29件 14,082千円 新築・購入(中山間地域かさ上げ分) 26件 15,425千円 新築・購入(土地開発公社)2件 2,000千円 ◆交付済額 15件 8,282千円	8,282	若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:57件	26%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 今年度事業完了予定の申請が目標に達した。中山間地域の新築購入分については昨年度の申請数を上回っている。	新築等の割合が少ない東郷・泊地域等(中山間地域)の補助金を嵩上げしていることについての広報も充実させながら、今後とも継続して実施していく。	企画課
76 結婚新生活支援事業	夫婦共に婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得が400万円未満の新規に婚姻した世帯に対し、婚姻に伴う住宅取得費用に対して補助金を交付。 新築・購入 500千円×5件=2,500千円 合計 5件、2,500千円	3,450	◆交付決定(9/24現在) 0件 0千円 ◆交付済額(9/24現在) 0件 0千円	0	新婚夫婦の定住:5件	0%	【評価:D 計画より遅れている】 婚姻届を提出された方へチラシを渡したり、若者夫婦・子育て世代補助金の提出をされるハウスメーカーに都度対象にならないか確認しているが、利用に至っていない。	R3に創設した新しい補助制度であり、今後も引き続き制度の周知を図っていく。	企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
77 三世帯同居 世帯等支援 事業	三世帯家族の形成と子育ての支援を促進し、 家族の絆の再生と定住促進を図る。 親と子と孫が新たに三世帯で同居するための 住宅の取得や増改築・リフォーム等の費用に対 して助成を行う。 500千円×3件 1,500千円	1,000	◆交付決定 1件 ◆交付済額 0件	0	新たな三世帯 家族の定住:3 件	33%	【評価:D 計画より遅れてい る】 HP、町報等で周知を行って いる。1件交付決定済。	引き続き広報を続け、周知に 努めていく。	企画課
78 移住者運転 免許証取得 支援事業	■県外からの移住者が自動車運転免許証を取 得した場合、取得費用の一部を助成する。 150千円×3人 450千円 ■県外からの移住者がペーパードライバー講習 を受講した場合、受講料の一部を助成する。 5千円×3人 150千円	460	◆交付決定(9/24時点) 移住者運転免許取得支援補助金 1件 150千円 移住者運転安心支援事業補助金 0件 ◆交付済額(9/24時点) 移住者運転免許取得支援補助金 1件 150千円 移住者運転安心支援事業補助金 0件	150	◆県外からの 移住者の免許 取得:3人 ◆県外からの 移住者のペー パードライ バー講習受講 者:3人	17%	【評価:D 計画より遅れてい る】 HP、町報等で周知を行って いる。1件の申請があり、1名 が転入済である。	今後も引き続き補助制度の周 知を図り事業を継続し、本町 への移住定住の魅力を高め たい。	企画課
79 住宅取得仲 介報酬助成 事業	中古住宅及び新築住宅用土地(いずれも集合 住宅を除く。)を購入しようとする者に対し、支 払った仲介報酬を一部助成し、町内定住促進に より町の活性化を図る。 130千円×7件 1,300千円	910	◆交付決定 7件 815千円 ◆交付済額 7件 815千円	815	中古住宅及び 新築住宅用土 地購入によ る、町内への 定住:7件	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 HP、町報等で周知を行って いる。7件の申請があり、転入 済である。	引き続き広報を続け、周知に 努めていく。	企画課
80 お試し住宅 運営事業	古民家を活用したお試し住宅と、街なかに新設 したお試し住宅を設置して、移住定住を検討して いる方に本町の暮らしを体験してもらうとともに、 空き家の有効活用、移住定住検討者と地域住 民の交流による地域活性化及び定住促進を図 る。 まちづくり会社指定管理事業。	197	利用実績(4月～9月) もりた屋:0件 まつぎ屋:2件 新型コロナウイルス感染症の拡大によ り、4月1日～7月29日まで地域により利 用制限を設け、7月30日から全面的に利 用を中止とした。	0	お試し住宅利 用件数:42件	5%	【評価:D 計画より遅れてい る】 利用2件/42件=5%	新型コロナウイルス感染症の 拡大状況をみて必要な制限も 考えながら利用再開する。利 用者アンケートの結果を本町 のまちづくり、移住定住施策 に活かしていく。	みらい 創造室

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
81 〈再掲〉 ふるさと奨 学資金貸与 事業(名称 変更:ふる さと人材育 成奨学金支 援助成金事 業) 【Ⅰ:④雇 用の推進に も記載あり】	【ふるさと人材育成奨学金支援助成金】 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭、農業、林業、漁業、農林水産業協同組合 ○助成内容 ・無利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6 ・有利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8 ・助成期間:原則として県内の対象業種に就職してから8年間 ◆45千円×2人=90千円(助成中) ◆60千円×5人=300千円(新規)	390	新たに1名交付決定した。 町HPに制度の概要を掲載するとともに、県のHP上においても周知してもらっている。	0	申請者(新規) 5人	20%	【評価:D 計画より遅れている】 新規の申請者はあったが、計画に比べて申請件数が少ない。 県の制度周知と併せて町の制度の周知を引き続き行っていく。 新規申請者:実績1人/目標5人=20%	鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定者で湯梨浜町に定住する方について、県の制度の周知と併せて町の制度も周知し、今後も県とよく連携を図りながら制度の周知に取り組んでいく。	教育総務課
82 〈再掲〉 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進① 【Ⅱ:②地 域福祉の推 進にも記載 あり】	【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍のまち推進事業(地方創生推進) 28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の方々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯梨浜まちづくり株式会社」等、官民が連携し一体となり推進していく。 ◆生涯活躍のまちPR業務(情報発信)7,066千円(旅費452千円、役務費1,045千円。委託料5,569千円) 令和3年度は、都市圏(東京、大阪)でのセミナー、オンラインセミナー、現地ツアーを実施する。	7,176	レークサイド・ヴィレッジゆりはまの一般分譲地の建設・入居、福祉ゾーンの2か所(4月、9月)の事業が始まった。 ■8月28日大阪日日新聞で、生涯活躍のまちの取組、レークサイド・ヴィレッジゆりはまの事を掲載してPRした。	336	〈推進交付金〉 ①県外からの移住者:185人(R3)、925人(R6) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(R3)、35団体(R6)	64%	【評価:D 計画より遅れている】 ①4月～9月:52人。52人/185人=28% ②1団体。1団体/1団体=100% (28%+100%)/2=64%	レークサイド・ヴィレッジゆりはま事業は順調に進んでいるが、継続してPRしていく。関係人口を新たな切り口としてオンラインを含めたセミナー、ツアーを開催して、湯梨浜町ファンを増やし、将来的な移住定住へつなげる。	みらい創造室

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
83 〈再掲〉 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進② 【Ⅱ:②地 域福祉の推 進にも記載 あり】	・地域おこし協力隊事業(生涯活躍のまち) 地域おこし協力隊3名を任命し、「湯梨浜町版生 涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨 浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたる まちづくりに関連する事業の運営などの中核を 担い、活動するもの。 【地域おこし協力隊】 ・まちづくり会社で活動(3名) 13,159千円	13,159	総合相談センターどれみを拠点として、 生涯活躍のまちに関する空き家利活用 と情報発信を行っている。 ■空き家の利活用(2人) 毎月のどれみでの空き家相談会を実施 している。相談会で相談を受けた結果、 1件の空き家情報バンクへの申請を行っ た。 ■情報発信(1人) 地域おこし協力隊Facebook「ゆりはま フェローズ」で町の情報発信を行い、フェ ローが62人増加した。(9月30日時点)	5,067	〈推進交付金〉 ①県外からの 移住者:185 人(R3)、925 人(R6) ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数:1団体 (R3)、35団体 (R6)	64%	【評価:D 計画より遅れている】 ①4月～9月:52人。52人/185 人=28% ②1団体。1団体/1団体= 100% (28%+100%)/2=64%	生涯活躍のまちの移住の受 入として空き家を利活用した 住居の確保と移住定住に結 びつく契機となる関係人口の 創出は重要であるため、引き 続き地域おこし協力隊を配置 して活動を行う。	みらい 創造室
84 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進⑥	生涯活躍のまちに活かされる多世代交流拠点と しての町営住宅建替えについて、民間事業者の 選定及び事業契約の締結。 ●町営住宅建設事業(PFI)に係るPFIアドバイザ ー業務(10,983千円) ●町営住宅建替事業着手。事業期間は令和7 年3月24日まで。令和3年度は設計業務(19,215 千円)、基盤整備(道路・上下水)(35,574千円)	66,362	■PFIアドバイザー業務について、令 和2年度から継続して実施中。業務開始 後に実施方針等の公表を行い、3回の 民間事業者選定委員会を経て9月に落 札者を決定し公表を行った。 ■建替事業について、10月上旬に落札 者と仮契約を締結し、10月臨時議会の 議決を得て契約締結し、事業着手予定。 令和3年度は新長江団地の設計及び基 盤整備に着手予定。	54	〈推進交付金〉 ①県外からの 移住者:185 人(R3)、925 人(R6) ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数:1団体 (R3)、35団体 (R6)	64%	【評価:C 計画どおりに進ん でいる】 ①4月～9月:52人。52人/185 人=28% ②1団体。1団体/1団体= 100% (28%+100%)/2=64%	■新長江団地設計業務(R2 から継続)、新長江団地建設 工事に着手する。12月完成予 定。	町民課

(単位:千円)

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)		KPI			R4 実施方針	担当課
			執行 済額	目標	達成率	評価			
85 地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊の活用が有効と思われる分野について、関係課の予算措置に基づき、隊員募集を企画課で行う。	0	0	6月から5区分6名の募集を開始。(2名は協力隊員の退任による) 8月に2区分3名の任用を決定したが、合格者のうち1名から辞退の申し出があり、任用は2名となった。(合格者が決まらなかった区分について、10/1、10/8に随時募集を開始)9月に随時募集していた果樹生産振興担当に応募があったが、1次審査後に辞退。10月に果樹生産振興担当に応募があり、10/21に一次審査を実施	協力隊の任用 4名から6名へ変更する	33%	【評価:D 計画より遅れている】 1回目の募集では、任用は2名にとどまった。協力隊員が決まらなかった区分について、随時募集を実施し、協力隊員の任用につなげたい。	地域おこし協力隊の活用が有効と思われる分野について、各課からの要請に基づき協力隊員を募集していく。	企画課
86 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援① コミュニティ助成事業	コミュニティ助成事業 (財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。 ◆通信運搬費 21千円 (交付決定後、補正予算で対応) ◆補助金3件 4,300千円 ①光吉区 1,200千円 ②長瀬中部区会 1,900千円 ③長江自治区会 1,200千円 ※6月補正予算計上	4,300	3,100	◆交付決定済 3件 4,300千円 ①光吉区 1,200千円 ②長瀬中部区会 1,900千円 ③長江自治区会 1,200千円	(財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。	50%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 令和3年度採択自治区に対し交付決定手続きを行い、次年度の募集案内手続きを実施した。	助成を行った各区において、地域の活性化等に寄与している。今後も引き続き事業の広報を行いながら、各区に助成制度の活用を促し、コミュニティ活動の推進に努めたい。	企画課
87 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援② まちづくり創造事業・ステップ事業	まちづくり創造事業・ステップ事業 自主的・継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。 ◆交付補助金 700千円 1件200千円×3団体(創造事業) 1件100千円×1団体(ステップ事業) ◆役務費 2千円 ※県費:市町村交付金(1/2)	702	300	◆交付決定済 2件 300千円 創造事業(みんなの食堂ゆるりん) 1件 200千円 ステップ事業(鬼嫁の里プロゼクト) 1件 100千円	まちづくりを創造する団体の育成 創造事業 新規 1団体	0%	【評価:D 計画より遅れている】 ホームページ等を通じて新規団体を募集しているが、現時点申請はない。	現在交付補助を行っている団体がR3で最終年度を迎えることもあり、新規団体の応募に向け広報等を行っていく。	企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)		KPI			R4 実施方針	担当課
			執行 済額	目標	達成率	評価			
88 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援③ 集落づくり総合交付金事業	集落づくり総合交付金事業 町内各集落の運営費や防災活動、その他福祉活動等自主的な集落づくり活動などに対して交付金を助成する。 ・集落運営交付金 ・自主防災組織運営交付金 ・防犯灯維持管理交付金 ・防犯灯設置等交付金 ・集落活性化交付金 ◆補助金 計 37,255千円 ◆通信運搬費 63千円	37,318	26,040	集落づくり総合交付金:75地区	60%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 区長等事務費交付金(全区)については10月支払。随時受け付ける案件はその都度対応している。現在、11/25支払(各区会計期間の関係により)の申請を受付中。	各区の活動の維持・活性化に寄与しており、引き続き推進していきたい。	企画課	
89 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援④ 地域にぎわい創出事業	町内に旧地区公民館単位を基準とした地域を設定し、その地域が実施する「運動会」、「祭り」などの経費を補助する。 12地域(羽合:7地域、東郷:4地域、泊:1地域) 【補助率・補助金限度額】 補助率:10/10 限度額:地域均等分90,000円+地域の人口×150円 ◆補助金 3,570千円 ◆役務費 6千円	3,600	2,647	12地域全てから申請を受け、交付決定および概算払をしている。 ◆補助金 2,647千円 ◆役務費 0円	60%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 新型コロナの影響による事業の縮小が懸念される。	各地域の活性化に寄与しており、引き続き取り組んでいきたい。	企画課	
90 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援⑤ ボランティア団体育成支援事業	ボランティア団体育成支援事業 ボランティア団体の育成を図り、住民参加型の地域活動を促進し、協働のまちづくりを推進する団体を支援する。 ◆補助金 17団体 553千円 ◆消耗品費 5千円 ◆通信運搬費 5千円	563	23	交付決定済 9件 うち1団体については、活動に係る資金の概算払いの要望があったため、支払済。 ◆補助金 23千円 ◆消耗品費 0千円 ◆通信運搬費 0千円	0%	【評価:D 計画より遅れている】 町報で新規団体の募集案内や登録団体の活動紹介を行っているものの、新規団体の登録は現時点でなし。	住民参加型の地域活動を推進するため、町報やホームページで制度の周知を行うことで新たな団体の掘り起こしを行うとともに、登録団体の活動紹介を行うことで、会員の拡充に寄与したい。	企画課	

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
91 防災対策特別強化事業	湯梨浜町内各集落の防災意識高揚のための人的支援。15件以上の各種団体・集落における研修を実施する。また、自主防災組織を1地区以上設立する。 ◆報酬 2,116千円 ◆期末手当 450千円 ◆社会保険料 411千円 ◆旅費 10千円 ◆費用弁償 51千円 ◆消耗品 80千円 ◆通信運搬費 10千円	3,128	■研修3回 4月 赤池区 6月 橋津区 9月 羽合小学校4年生 10月 宇野区 10月 門田区 10月 社会福祉協議会(つわぶき荘) ■自主防災組織設立に係る説明会 6月 レークサイドビレッジPT会議	1,462	15件以上の各種団体・集落における研修を実施。また自主防災組織を1地区以上設立する。	47%	【評価:D 計画より遅れている】 コロナ禍の影響により、4回のキャンセルがあり、10月末時点で7回の開催実績である。 11月以降にはすでに2カ所での開催が決定している。	令和3年11月に防災マップが改訂される。改訂後の令和3年度はもとより、来年度は、改訂後の防災マップの周知とともに防災研修を実施していく。	総務課
92 小地域拠点集会所等バリアフリー事業	高齢化した地域住民等が安心して地域交流できるように拠点である地域集会所等のバリアフリー改修に対し助成を行う。上限1,000千円。2/3助成。 ◆補助金 2,000千円 より多くの地区にバリアフリー改修を実施していただくため、各区長に事業内容等についてお知らせし、改修の必要性を検討いただき、実施を呼びかける。	2,000	■改修実施 5地区 ・上橋津区 トイレ改修 ・橋津区 玄関スロープ設置 ・田後(南部・北部)区 トイレ改修 ・上浅津区 玄関スロープ トイレ改修 ・光吉 トイレ改修	1,691	バリアフリー改修5地区	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 5地区がバリアフリー改修実施済みであり、それぞれに助成を実施した。今年度の目標5地区は達成したが、引き続きバリアフリー改修の実施について呼びかけていきたい。	地区公民館、集会所について、すべての人が使いやすい施設とするため、引き続きトイレや玄関、廊下、階段などのバリアフリー改修を推進する。	総合福祉課
93 買い物難民対策事業	高齢者支援のための地域支え合いの手引きの情報を更新し、買い物等不便者の解消を図る。 町社会福祉協議会が実施している「のりあいバス運行事業(週1回運行)」の経費助成を行い、高齢者等の移動手段の確保を図るとともに、より活用しやすいのりあいバス運行事業について検討を進める。また、令和3年度から対象者を拡大した高齢者へのタクシー料金助成事業について周知を行い、運転免許を持っていない高齢者の移動手段の確保を図る。 また、高齢者等の移動手段の拡充について検討を進めたい地域や地域貢献活動を行う民間事業者との協議を進め、のりあいバス事業・高齢者タクシー料金助成事業以外の移動手段について協議を進める。 ◆乗り合いバス運行事業に対する補助金 補助金 282千円(当初予算) ◆高齢者タクシー料金助成事業 消耗品費 77千円 扶助費 4,800千円	5,159	◆高齢者支援のための地域支え合いの手引きの情報を更新した。(7月) 窓口設置、相談者、ケアマネジャーへ配布。 ◆乗り合いバス運行事業 (毎週金曜日) 登録者:48人 利用者:40名 ※泊→羽合行 1便 (マイクロ 定員21人)平均 12人/回 ※東郷→羽合行 2便 (コムーター定員13人) 1便目:平均 8人/回 2便目:平均 5人/回 ◆高齢者タクシー料金助成事業 申請者:159名	395	社会資源の把握、啓発を行い、適切な支援につなげる。 また「のりあいバス事業」の利用者を45人以上とし、運行に係る経費の助成を行う	88%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 地域支え合いの手引きの更新を行い情報の把握ができた。 乗り合いバスに関しては登録者が48名となり今後利用につながるが見込まれる。 高齢者タクシー料金助成事業については、R3年度より対象者を拡大したことで利用者の増加につながった。 達成率:40/45=88%	引き続き地域支え合いの手引きの更新を行い買い物等不便者の解消を図る。タクシー料金助成事業に関しては町民の声をもとに改善を進めていくとともに事業の周知を行う。 今後も高齢者の移動手段の拡充のため情報の収集や関係課との連携、協議を進めていきたい。	長寿福祉課

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)	執行 済額	KPI			R4 実施方針	担当課
					目標	達成率	評価		
94 小さな拠点事業の推進	泊地域において、住む人・場所、買い物、地域コミュニティ、行政などの各機能と各集落をつなげ、地域の再生を目指す取組みを行う。 地域住民が主体的に買い物支援や地域コミュニティ等の生活サービスを維持・確保する等、地域課題を解決するための仕組みづくりを支援する。		地域住民が主体となった買い物支援や地域コミュニティ等に取り組むNPO法人の設立にむけ取り組んでいる。 ■5月7日発起人会 ■6月20日設立総会 ■9月30日NPO法人認可の申請を県に提出		小さな拠点づくりにおける地域活動団体の設立	0%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 団体設立となり、10月下旬にNPO法人認定を受ける見込みである。	条件不利地域再生のための住民活動であり、持続的な地域振興につながるよう法人の意見を聞きながら必要な支援を行っていく。	みらい創造室
95 ICT推進事業①	行政イントラシステムを活用を奨励し、県内自治体間における業務効率化を促進する。 ◆負担金 62千円	62	新規のスペース立ち上げの実績はない。	0	県等によるスペース(ワーキンググループ)の立ち上げ件数:8件	0%	【評価:D 計画より遅れている】 横断的な協議に必要と思われるワーキンググループはすでにあり、自治体の協議の場が必要な大型事業がないため難しい状況にはある。	コロナ禍にあつて、非接触の会議が主流になりつつあること、また、デジタル化や脱炭素社会の構築等に向け、県及び市町村の連携が一層必要となると考えられることから、システムの活用を推進していきたい。	企画課
96 ICT推進事業②	鳥取県と県内市町村(一部除く)が、共同で運用している電子申請システムの利用促進と、情報通信技術に関する業務対応が可能な職員育成に努める。	270	電子申請操作研修(8月27日・9月15日)参加部署5部署・参加人数6名。現時点で新規電子申請手続がないため、今後、手続の追加に向けて令和3年10月中に各課に登録可能な電子申請手続について照会を行って、今年度20手続以上の追加を目標とする。	135	5部署以上の職員の研修参加・電子申請取扱い手続20以上の追加	50%	【評価:D 計画より遅れている】 操作研修については、計画どおり実施。電子申請での受付については、現時点で取扱手続が4手続にとどまっている。現在、各手続における電子申請開始について各課に照会中。取扱い可能な手続については年度末までに実施を目指す。	住民の利便性向上のため、電子申請可能手続の追加に努めていく。	総務課
97 東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラム	東京大学の学生が自治体の社会的課題解決のため、①事前調査②地域に滞在して現状を体験・把握③課題解決提案に向けた調査④地域及び大学で提案を行う。学生を受け入れることで、湯梨浜町の関係人口の創出を図る。 →応募の申込を行ったが、不採択となった。	0	申込を行ったが、不採択となった。	0	交流した学生にゆりはまフェローになってもらう:4人	0%	【評価:E 未着手、未実施、先送りなど】	多角的視点からの地方創生を進める一環として、令和4年度の募集がある際は、応募をして、地域課題解決への提案を受ける。	みらい創造室

事業名	計画	予算額	実績 (10月末現在)		KPI			R4 実施方針	担当課
			執行 済額	目標	達成率	評価			
98 ふるさと納税 推進事業	ふるさと納税の寄附受け入れ、町特産品(返礼品)送付、定期的な情報提供・町のPRを通じて、寄附リピーターと関係人口の増加を図る。	274,084	37,385	寄付者へのメルマガ送付15回 最新お知らせ情報60回 パンフレット送付(春・秋)13,000部 寄付者数5,926人 寄付金額90,341千円 寄付者への定期的なメルマガ送信、パンフレット送付により、返礼品の情報を提供し、リピーターとなってもらえるよう働きかけを行っている。	メルマガ等による情報提供 年24回以上 寄付者数 毎年10,000人以上 (R2 9,126人 R1 16,740人 H30 8,606人 H29 7,059人)	59%	【評価:D 計画より遅れている】 寄付者への情報提供は計画どおり実施できているが、寄付件数・寄付金額とも前年同月比で約15%落ち込んでいるため、寄付が集中する年末に向けてPRIに注力していく。	地域の特産品の情報提供を継続的に実施し、リピーター獲得により、関係人口の増加と安定的な寄附獲得を図っていく。	総務課
99 企業版ふるさと納税推進事業	都市部などの企業に総合戦略に係る事業をPRし、事業に対して寄附を募る。本町の取り組みに関心を持っていただくことにより、将来的に人材の交流などに結びつけるなど、企業との連携の深化を図る。	0	0	9月に町ホームページにおいて、「第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲載している事業について、寄附を募集していることについて掲載した。10月、11月に内閣府主催の企業とのマッチング会に参加し、参加企業に広くよびかける予定。さらに、県外に本社のある法人約600社に寄附依頼文書を送る予定。	募集受付を開始する事業を1事業以上とする。寄附を1社以上受領する。	0%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 特定の事業を抽出し、個別に企業に依頼する必要がある。	宣伝手法を確立し、より多くの寄附を受領し、各企業との関係を深めたい。	みらい創造室
100 ゆりはまフェローを核とした関係人口推進事業	地域おこし協力隊によるFacebookのフォロワーや、町イベント等参加者及びふるさと納税者のうち県外者を「湯梨浜フェロー」と位置付け、町の広告塔としての役割を担っていただくほか、体験ボランティアとして来町していただくことにより、町の関係を維持し、将来的な移住定住に結びつける。 ≪R3予算額≫7,066千円(旅費452千円、役員費1,045千円、委託料5,569千円) ≪R3.9月補正≫サマースクールをオンライン形式に変更。委託料1,023千円	1,023	336	関係人口の創出のため、関連イベントでフェローのPRを行った。 ■7月17日オンラインイベント「まちづくりサミット」 ■8月5日オンラインイベント「ゆりはまカレッジ①」 ■8月19日オンラインイベント「ゆりはまカレッジ②」	新たにゆりはまフェローに認定された人数:100人	62%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 新たにゆりはまフェローに認定された人数:62人 62人/100人=62%	引き続き関係人口(ゆりはまフェロー)の創出を図るとともに、情報システムを活用してフォロー同士や住民との交流を進める。	みらい創造室
101 デジタル活用推進事業	地域おこし協力隊による高齢者等情報弱者向けのスマートフォンの活用の仕方等の講習会や個人相談会等を開催し、デジタル機器の活用推進を図る。 ≪R3予算額≫4,465千円(報酬1,992千円、期末手当424千円、共済費385千円、活動費1,664千円)	4,465	0	8月の任用者の決定を受け、当人と町への転入の時期などを調整中。(11月採用予定)	講習会又は相談会の開催:12回	0%	【評価:D 計画より遅れている】 任用後、速やかに事業を推進していく。	前年度に引き続き、講習会や相談会等を通じてデジタル活用を推進していく。	企画課